

第六高等學校一覽目次

○學 歷

○沿革 略

○高等學校ニ關スル法令

(一) 高等學校令

(二) 高等學校大學豫科學科規程附文部省訓令

(三) 高等學校大學豫科入學者資格設定

(四) 第六高等學校設置

(五) 文部省直轄諸學校官制摘載

(六) 雇外國人使用方ノ件

(七) 文部省直轄諸學校職員定員令

(八) 文部省直轄諸學校高等官々等俸給令

(九) 高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程

一 頁

三 頁

十三 頁

全 頁

全 頁

二十九 頁

全 頁

三十 頁

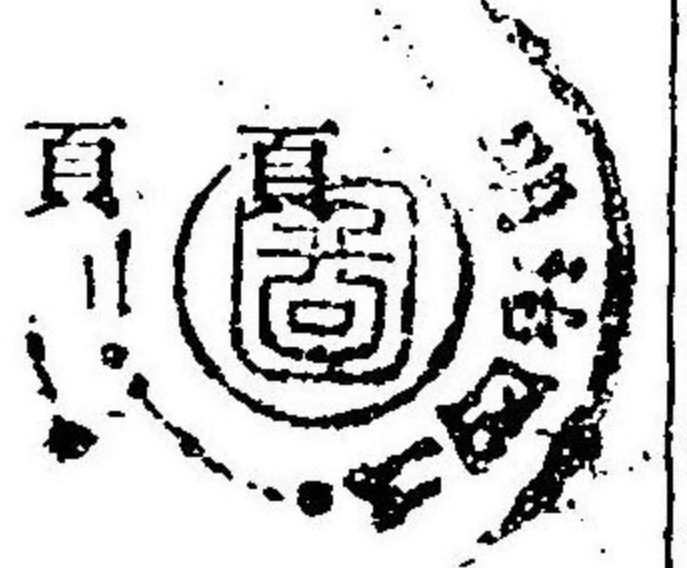
三十四 頁

全 頁

全 頁

目次

書目録



(十) 文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者扱方ノ件	四十一頁
(十一) 文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ入學試験ヲ受タルノ件	全頁
○規	
第六高等學校々々則	
第一章 校規	
第一款 總則	四十二頁
第二款 學科課程	全頁
第三款 學年學期及休業	五十二頁
第四款 入學及在學	五十三頁
第五款 生徒心得	五十四頁
第六款 進級及卒業	五十五頁

第七款 特待生	五十六頁
第八款 休學	五十七頁
第九款 退學及除名	五十八頁
第十款 懲戒	五十九頁
第十一款 授業料	六十頁
第十二款 生徒寮規程	六十一頁
書式	六十二頁
第二章 細則	
第一款 教務細則	六十六頁
第一節 授業規程	全頁
第二節 生徒心得	六十八頁
第三節 學業成績考查細則	七十頁
第四節 生徒寮規程	七十三頁

第五節	通學生徒規程	七十九頁
第六節	担任教官級長及副級長規程	八十一頁
第七節	監督教官規程	八十二頁
第八節	評議員規程	八十三頁
第九節	教授會規程	八十四頁
第十節	服裝規程	八十五頁
第十一節	生徒取締規程	八十九頁
第二款	掌務細則	九十頁
第一節	校務分掌規程	全頁
第二節	事務員服務規程	九十七頁
第一	事務員	全頁
第二	當直	百一頁
第三節	生徒寮掌務規程	百四頁

第一	寮務課長	百四頁
第二	寮務掛	百五頁
第四節	文庫規程附圖書閱覽室規程	百七頁
第五節	第六高等學校物品會計規程細則	百十頁
附錄		
(一)	食費ニ關スル規程	百二十頁
(二)	本校生徒ニシテ入學試験ヲ受クルノ件	百廿一頁
(三)	授業料及寄宿料徴收細則並ニ未納者取扱手續	全頁
(四)	重要揭示	百廿四頁
○職員姓名並ニ教務事務分配		百廿八頁
○生徒姓名		一頁
○卒業生姓名		二十一頁
○生徒府縣別人員		五十三頁

目次  
○敷地及建物

六  
五十七頁

第六高等學校一覽

○學 曆 (自明治四十二年至同四十三年)

明治四十二年九月十日及十一日	生徒引見式
同月十二日	宣 誓 式
同月十三日	第一學期授業始ル
秋分	休業(秋季皇靈祭)
十月十七日	休業(神 嘗 祭)
十一月三日	休業(天 長 節)
同月二十三日	休業(新 嘗 祭)
十二月二十四日	第一學期授業終ル
同月二十五日	冬期休業始ル
明治四十三年一月七日	冬期休業終ル
同月八日	第二學期授業始ル

學 曆

同月三十日  
 二月十一日  
 春分日  
 三月三十一日  
 四月一日  
 四月七日  
 四月八日  
 四月十九日  
 七月十日  
 七月十一日  
 九月十日

休業(孝明天皇祭)  
 休業(紀元節)  
 休業(春季皇靈祭)  
 第二學期授業終ル  
 春季休業始ル  
 春季休業終ル  
 第三學期授業始ル  
 本校紀念日  
 第三學期授業終ル  
 夏季休業始ル  
 夏季休業終ル

○沿革略

第六高等學校ハ明治三十三年三月二十九日勅令第八十四號ニ據リ設置セラレ同日勅令第八十六號ヲ以テ職員ノ員數ヲ定メラル

四月十三日第三高等學校教授正六位酒井佐保學校長ニ任セラレ

十九日文部省告示第二百二十一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ岡山縣岡山市大字門田字山手屋敷及大字國富字田中ト定メラレ假事務所ヲ文部省内ニ設ク

同日文部省令第七號ヲ以テ本校ニ大學豫科ヲ設置セラル

五月三十一日假リニ本校學則ヲ定メ大學豫科各部第一年級生徒ヲ募集ス

六月十九日文部省内假事務所ヲ岡山市大字國富少林寺ニ移

ス  
 七月六日入學試験臨時委員ヲ第三高等學校職員ニ囑託シ第  
 三高等學校ニ於テ入學試験ヲ施行ス受験者三百三十八人及  
 第セシ者百二十九人  
 八月十五日入學試験ノ合格者ヲ悉ク各部第一年級ニ編入シ  
 同時ニ生徒ノ制服制帽徽章ノ様式及ヒ生徒ノ番號ヲ定ム  
 此月教授書記及其他ノ職員ノ任命アリ校務分掌規程及事務  
 員服務細則等校務執行ニ關スル諸般ノ細則ヲ定ム  
 九月一日岡山市大字小橋町國清寺ヲ借リテ假生徒寮ニ充テ  
 此月六日ヲ期シ一般生徒ニ入寮ヲ命スコレ本校ノ新築事業  
 尙ホ央ニシテ生徒寄宿舎ノ建設ヲ見ルニ至ラス然ルニ土地  
 ノ狀況ハ生徒隨意ノ散宿ヲ許サ、ルモノアリ德育上衛生上  
 全校生徒ヲ一定ノ場所ニ收容スル必要ニ迫ラレシヲ以テナ

リ  
 六日假生徒寮ヲ開キ全校生徒ヲ悉ク之ニ收容ス  
 同日本校事務所ヲ本校内ニ移ス  
 此日教授飯塚啓巖ニ本校ニ下賜セラレタル 兩陛下並ニ  
 皇太子殿下ノ御眞影及教育ニ關スル敕語ノ謄本ヲ拜受シテ  
 着任ス  
 十一及十二ノ兩日入學生徒ノ引見式ヲ行フ  
 十三日入學生徒ノ宣誓式アリ  
 十五日開校式ヲ舉行ス文部大臣伯耆樺山資紀專門學務局長  
 上田萬年以下文部省高等官數名ヲ從ヘテ臨場ス此日市民ハ  
 各戸ニ國旗ヲ掲ケテ祝意ヲ表ス  
 十六日地方人民ニ校舎ノ縱覽ヲ許ス  
 十八日始メテ各學科ノ授業ニ就ク

十月二日從來ノ假學則ヲ改メ更ニ校則ヲ定ム其他擔任教官並ニ級長副級長等ノ制ヲ定ム

明治三十四年一月八日御親署ノ敕語ヲ拜戴ス

五月二日 皇孫御降誕奉祝ノ爲メ臨時休業ス

七日生徒募集ニ關シ特別法ヲ設ケ此年ニ限り實施ス

九日生徒寮規則ヲ定ム

十日寄宿舎新築落成ヲ告ゲタルヲ以テ文部省總務局建築課ヨリ該建物ノ假引渡ヲ受ケ此日ヨリ新ニ生徒寮ヲ開キ國清寺ニ設ケタル假生徒寮ヲ廢ス

八月二十五日校則中授業料ニ關スル規程ヲ改正ス從來ノ規定ニ於テハ一學年ノ授業料額貳拾圓ナリシモ改正規則ニ於テハ貳拾五圓ト爲シ明治三十四年九月以後ノ入學生ニ對シ實施スルコト、ナセリ

此月學級ノ増設ニ應ジ増加スヘキ教授及講師等ノ任命アリ

九月三日博物學、化學、物理學ノ各特別教室ノ新築落成シタルニ依リ其引渡並ニ寄宿舎ノ本引渡ヲ文部省總務局建築課ヨリ受ク

明治三十五年一月書庫并ニ圖書閱覽室竣工シ茲ニ工事ニ關スル既定事業ヲ完成ス

三月二十七日敕令第九十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制改正同日敕令第九十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令制定セラレ本校職員ノ定員ヲ定メラル

四月二十五日文部省告示第八十二號高等學校大學豫科入學試驗規程發布ニヨリ從來各高等學校ニ於テ各自施設シタル生徒入學ニ關スル事項ハ茲ニ文部省事務ニ移ル

八月此學年ニ至リ三年級ノ新設ニヨリ授業組數ノ増加ニ伴

テ増員ヲ要スル教授講師等ノ任命アリ  
 九月十一日市内虎列拉病流行ニヨリ開校ヲ延期シ全月廿一日迄授業ヲ閉止ス此月生徒一部ニ市内散宿ヲ許シ同時ニ生徒番號ヲ廢ス本校ハ寄宿制度ヲ主義トナスト雖モ既設ノ寄宿舎ハ此學年ニ至リ増加シタル生徒總員ヲ收容シ能ハザルニヨリ止ムヲ得ズ一時例外ノ方法ヲ採ルニ至リタリ  
 明治卅六年三月七日生徒寮規程中ニ追加ヲナス從來ノ規程ニ於テハ寮費ハ在寮日數ノ多少ニ拘ハラヌ當月ノ全額ヲ徵收スルノ定メナリシモ追加規定ニ於テハ月ノ十五日ヲ以テ區分シ十五日以前ニ退寮シ又ハ十六日以後ニ入寮シタルモノハ半額ト定メタリ  
 六月三十日各部三年生六十人卒業ス  
 七月三日第一回卒業証書授與式ヲ舉行ス

明治三十七年五月規則第一章第七款及第八款中改正ス蓋シ明文ノ不備ヲ修正シタルナリ  
 七月五日各部生徒百三人卒業ス  
 七月第二回卒業証書授與式ヲ舉行ス  
 十一月三十日文庫規程ヲ改正シ器械標本類ノ出納保管ノ任ヲ文庫課ノ管掌ヨリ除ク  
 明治三十八年二月授業料規定ヲ改正シ一學年ノ授業料額ヲ三十圓ト増額ス同時ニ在學証書ノ様式其他二三ノ点ヲ改正ス  
 七月三日各部生徒百十五人卒業ス(他ニ一名追試ニヨリ卒業)  
 五日第三回卒業証書授與式ヲ舉行ス  
 九月十一日一般生徒ノ風紀ヲ振肅スル爲生徒取締ヲ置キ其掌務規程ヲ定ム



明治三十九年七月二日各部生徒百三十人卒業(他ニ一名追試ニヨリ卒業)

同月四日第四回卒業証書授與式ヲ舉行ス

明治四十年六月三十日各部生徒百三十三人卒業ス(他ニ四名追試業ニヨリ卒業)

七月一日第五回卒業証書授與式ヲ舉行ス

九月規則並ニ授業法ヲ改正ス其重ナル点ハ從來ノ生徒保証人ヲ廢シタルコト試験制度ヲ改メタルコト授業ハ重ニ教科書ヲ用ユルコト、爲シタル等是ナリ

明治四十一年三月十二日文部省告示七十八號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者撰抜試験規程廢止セラレ生徒募集事務ハ各高等學校ニ於テ執行スルコト、ナル

二十三日生徒扣所及雨天体操場落成ニ付文部大臣官房建築

課ヨリ引渡サル

此月勅令第六十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中本校ノ定員教授二十六人ヲ二十七人ニ改メラル

六月二十七日各部生徒百五十二人卒業(外ニ清國學生ニ聽講証書ヲ授與シタル者一)

二十八日第六回卒業証書授與式ヲ舉行ス

九月規則中寮費一ヶ月金七拾五錢ヲ改メテ九拾錢トナス

明治四十二年一月校務分掌規程ヲ改正シ從來ノ分課ノ外更ニ生徒課ヲ増設ス

又評議員規定ヲ定メ同時ニ評議員ヲ任命ス

四月勅令第八十八號ヲ以テ教授ノ定員ヲ増加セララル

全月二十一日文部省令第十一號ヲ以テ高等學校大學豫科入學者撰抜試験規定ヲ定メラル

六月十四日 文部省令第十五號ヲ以テ 高等學校大學豫科學科課程中改正セラル

六月二十九日 各部生徒百三十一人卒業ス内清國學生三人ヲ含ム(此外清國學生ノ聽講生トシテ學課修了ノモノ一人アリ)

七月一日 第七回卒業証書授與式ヲ舉行ス

八月十九日 文部省令第十九號ヲ以テ 高等學校大學豫科入學者選拔試驗規程中改正セラル

全日又文部省令第廿號ヲ以テ 大學豫科學科課程中改正アリ

九月校則ヲ改正シテ寮費一ヶ月金九拾錢ヲ壹圓拾錢トナス

○高等學校ニ關スル法令

- (一) 高等學校令抄(明治廿七年六月勅令第七十五號)
- 第二條 高等學校ハ專門學科ヲ教授スル所トス但帝國大學ニ入學スル者ノ爲メ豫科ヲ設クルコトヲ得
- 第三條 高等學校ハ其附屬トシテ低度ナル特別學科ヲ設クルコトヲ得
- 第四條 高等學校ニ於テ設クル所ノ學科及講座ノ數ハ文部大臣之ヲ定ム
- 文部省令十六號ハ四十一年三月十九日文部省令第九號ニテ廢止
- (二) 高等學校大學豫科學科規程(明治三十三年八月文部省令第十三號發布 明治四十二年六月文部省令第十五號ニテ改正)
- 第一條 高等學校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部 第二部 及第三部トス

第一部ノ學科ハ法科大學及文科大學志望者ニ第二部ノ學科ハ醫科大學ノ藥學科(明治卅五年文部省令第十號ヲ以テ追加)工科大學理科大學理工科大學及農科大學志望者ニ第三部ノ學科ハ醫科大學志望者ニ課スルモノトス

第二條 第一部ノ學科ハ倫理、國語、及漢文、外國語、歷史、論理及心理、法學通論、體操トス

前項ノ學科ノ外文科大學志望者ニハ經濟通論ヲ課ス

前二項ノ學科中文科大學哲學科志望者ニハ論理及心理ヲ缺キ數學物理ヲ課ス

外國語ハ英語、獨語及佛語ノ中ニ就キ二種ヲ選ハシム

第一項ノ學科ノ外法科大學志望者ニハ隨意科トシテ雜句語ヲ課スルコトヲ得

第三條 第二部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、數學、物理、化學、地質

及鑛物、圖畫、體操トス

前項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科(明治卅五年文部省令第十號ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科、並ニ農科大學志望者ニハ動物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工程學科、機械工學科、電氣工學科、探鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニハ測量ヲ課ス

外國語ハ英語ノ外獨語又ハ佛語ヲ選ハシム但シ工科大學及理工科大學ノ電氣工學科、應用化學科、製造化學科、探鑛及冶金學科並ニ農科大學志望者ニハ必ス獨語ヲ選フヘキモノトス

第一項ノ學科ノ外醫科大學ノ藥學科(明治三十五年文部省

令第十號ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニハ隨意科トシテ羅旬語ヲ課スルコトヲ得

第四條 第三部ノ學科ハ倫理、國語、外國語、羅旬語、數學、物理化學、動物及植物、體操トス

外國語ハ獨語ノ外英語又ハ佛語ヲ選ハシム

第五條 各部各學科ノ每週授業時數ハ左ノ如シ

第一部

學科	年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語及漢文	六	五	四
英語	(九)	(九)	(八)

計	年		
	第一	第二	第三
獨語	(九)	(九)	(八)
佛語	(九)	(九)	(八)
歷史	三	三	三
論理及心理		二	
法學通論			二
經濟通論			[二]
體操	三	三	三
計	三〇	三一	三二 一九

備考 表中( )ハ選擇科目ノ時數ヲ表シ [ ]ハ文科大學志望者ニノミ課スル時數ヲ表ス

文科大学哲學科志望者ニハ第三年ニ於テ國語ヲ缺ク且之ニ課スベキ數學物理ノ授業時數左ノ如シ

學科	年		
	第一	第二	第三
數學		二	三
物理			二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ獨逸法又ハ佛蘭西法ヲ選修スル法律學科竝ニ文科大學ノ獨逸文學科佛蘭西文學科ヲ志望スル者ニ對シテハ外國語ノ授業時數ヲ左ノ如ク變更ス

學科	年		
	第一	第二	第三
英語	四	四	四
獨語又ハ佛語	一四	一四	一二

英語ヲ以テ入學シ法科大學ノ政治學科ヲ志望スル者ノ外國語ノ授業時數ハ本人ノ志望ニ依リ前項ニ依ルコトヲ得

隨意科トシテ法科大學志望者ニ課スベキ羅旬語ノ授業時數左ノ如シ

第二部

學科	年		
	第一	第二	第三
羅旬語			二

學科	年		
	第一	第二	第三
倫理			一
國語	三		
英語	八	七	四
獨語又ハ佛語	八	七	四
數學	五	四	六
物理		三	三

化學	地質及鑛物	圖書	體操	計
三		四	三	三一
三		四	三	三一
三		二	三	三〇
三 (講義)	二	二		
五 (實驗)				

第三年ニ於テ醫科大學ノ藥學科(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科、獸醫學科志望者ニハ數學ヲ缺キ工科大學及理工科大學ノ土木工學科、機械工學科、造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科及理科大學ノ星學科志望者ニハ化學ノ實驗ヲ缺キ理科大學ノ各學科、理工科大學ノ數學

科、物理學科、純正化學科及農科大學志望者ニハ圖書ヲ缺ク  
醫科大學ノ藥學科(明治三十五年文部省令第十號ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛物學科並ニ農科大學志望者ニ課スヘキ動物及植物ノ授業時數左ノ如シ

學科	第一	第二	第三
	年	年	年
動物及植物			講義 四 實學 二 六

工科大學及理工科大學ノ土木工學科、機械工學科、電氣工學科、採鑛及冶金學科、工科大學ノ造船學科、建築學科、理科大學及理工科大學ノ數學科、物理學科、理科大學ノ星學科並ニ農科大學ノ農學科、農藝化學科、林學科志望者ニ課スヘキ測量ノ授業時數左ノ如シ

測	學	年	第一	第二	第三
	科		年	年	年
	量				三

隨意科トシテ醫科大學ノ藥學科(明治三十五年文部省令第  
十號ヲ以テ追加)理科大學ノ動物學科、植物學科、地質學科、鑛  
物學科並ニ農科大學ノ獸醫學科志望者ニ課スヘキ羅旬語  
ノ授業時數左ノ如シ

羅	學	年	第一	第二	第三
旬	科		年	年	年
語	學				二

第三部

國	倫	學	年	第一	第二	第三
語	理	科		年	年	年
		學				一

獨	英	羅	數	物	化	動物及植物	體	計
語	語又ハ佛語	旬語	學	理學	學	學	操	
一三	三		三					二九
一三	三		二			實驗		三〇
一〇	三				講義	講義		三一
			二	六	六			

獨語ヲ以テ入學シタルモノニ對シテハ外國語ノ授業時數  
ヲ左ノ如ク變更ス

學科	獨語	第一年	第二年	第三年
	英語又ハ佛語	七	七	五
學年	九	九	八	

第六條 前條ノ各學科ハ生徒卒業後分科大學各學科ノ授業ヲ受クルニ足ルベキ豫備ノ程度ヲ以テ標準トナスベシ

第七條 學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ分科大學某科志望者ニ課スベキ一學科若シクハ數學科ヲ其學校ニ置カザルコトヲ得

附 則

第八條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス

第九條 本令施行ノ際現ニ第二年又ハ第三年ノ課程ヲ修ムル者ニ就キテハ其卒業ニ至ルマテ文部大臣ノ許可ヲ受ケ

舊規程ニ依リ若クハ新舊ノ規程ヲ斟酌シテ之ヲ教授スルコトヲ得

文部省訓令第九號(明治三十三年八月四日  
各高等學校ニ訓令)

高等學校大學豫科ニ關スル現行ノ規程ハ概テ數年前ノ制定ニ係リ改正ヲ要スヘキモノ尠ナカラス茲ニ文部省令第十三號ヲ發布シ其學科規程ヲ改正シタルハ既往ノ實驗ニ徴シ特ニ緊急改正ノ必要ヲ認メタレバナリ依リテ左ニ其ノ要領ヲ表示シ併テ本大臣ノ意見ヲ開陳ス各學校長及教官ハ宜シク其意ヲ體シ該令ノ旨趣ニ副ハムコトヲ務ムベシ高等學校大學豫科ハ帝國大學ノ豫備教育ヲ施ス處ナルヲ以テ大學ニ於ケル各専門學科ノ授業ヲ受クルニ必要ナル智識ヲ授クルヲ以テ目的トス豫備學科ノ區劃多岐ニ涉リ其修得スル所却リテ散漫ニ流ル、ガ如キハ務メテ之ヲ避ケサルヘカラス故ニ



新規程ニ於テハ豫備學科ノ區劃ハ成ルヘク之ヲ大體ニ止メ各學科ノ配當及授業時數等ニ適當ノ改正ヲ施シ以テ確實ナル豫備教育ノ本領ヲ完カラシムコトヲ期ス

徳性ノ涵養ハ教育ノ第一義ニシテ高等學校ニ於テモ常ニ意ヲ此ニ致シ其完成ヲ企圖スヘキハ固ヨリ辯ヲ俟タスト雖モ舊規程ニ於テハ倫理科ノ授業時數ニ一定ノ規定ナキヲ以テ各學校ニ於ケル施行ノ方法齊一ナラス概テ毎週一時ヲ割テ該科ノ教授ニ充テタルカ如シ抑モ高等學校ノ生徒ハ既ニ小學ヨリ中學ニ至ルマテ多年ニ涉リテ實踐道德ノ教育ヲ受ケ來リタルモノナルヲ以テ高等學校ニ於ケル倫理科ハ故テ修身ニ關スル授業ヲ施サズ學校長常ニ德育ノ中心トナリ機ニ臨ミ生徒ヲ訓戒シ各教官ニ於テモ適切ノ方法ニ依リ常ニ其ノ品性ヲ誘掖陶冶スルコトヲ務メ第三年ニ至リ近世學理

ノ上ヨリ人倫ノ大道ニ關スル稍高尚ノ智識ヲ與ヘ平素學習セル科學上ノ智識トノ調和ヲ圖リ以テ倫理教育ノ上圓滿ナル成果ヲ收メムコトヲ望ム

外國語ニ習熟セシムルハ各専門學科教授ノ豫備トシテ最も必要ナルニ拘ハラズ之ヲ從來ノ經驗ニ徴スルニ高等學校ヲ卒業シ進ミテ大學ニ入ル者ノ缺點ハ外國語ノ力ノ不充分ナルニ在リ是レ改正規程ニ於テ各部ヲ通シテ著シク其授業時數ヲ増加シタル所以ナリ而シテ此増加シタル時間ニ於テハ適宜ニ學科ニ關スル外國ノ參考書等ニ習熟セシムベシ然レトモ語學ノ教授ハ單ニ授業時數ノ増加ノミニ依リテ必スシモ其ノ進歩改善ヲ望ミ得ヘキニアラス教授法ノ改善又隨テ之ニ伴ハサルヘカラス故ニ當該教官ハ宜シク常ニ適切ナル教授法ヲ攻究シ改正ノ旨趣ヲ空シカラシメザラムコトヲ要

ス  
 第二部及第三部ニ於テ特ニ著シク國語及漢文ノ授業時數ヲ減シタルハ該部専門學科ノ豫備トシテハ深ク文學上ノ智識ヲ授クルノ必要ナク能ク國語漢文ヲ調和シテ簡明達意ノ文ヲ綴リ得ルニ至ラシムルヲ以テ足レリトスレハナリ故ニ該部ニ於テハ其名稱ヲ改メテ單ニ國語トナシ一層此目的ニ適ハシメムトス而シテ國語ト漢文トハ教育上最密接ノ關係ヲ有スル學科ナルヲ以テ第一部ニ於テ之ヲ教授スルニ方リテモ兩者ヲシテ成ルヘク相待チ相扶ケ以テ適當ナル融合調和ヲ圖ラムコトヲ要ス  
 其他改正ノ細目ニ就テハ敢テ茲ニ詳説セスト雖モ之ヲ要スルニ本改正ノ旨趣ニ基キ大學豫備教育ノ實質的改善ヲ完ウスルハ各學校長及教官ノ周到ナル用意ニ待ツモノ多シトス

(三) 高等學校大學豫科入學者資格設定

○文部省令第九號 (明治四十九年三月十九日)

高等學校大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ體格検査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タルベシ  
 一 中學校ヲ卒業シタル者  
 二 専門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者  
 三 専門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者但シ某學校ノ入學ニ限リ指定ヲ受ケタル者ヲ除ク  
 明治二十七年文部省令第十六號ハ之ヲ廢止ス  
 (四) 第六高等學校設置 (明治三十三年四月文部省令第七號)  
 第六高等學校ニ大學豫科ヲ設置シ明治三十三年九月十一日ヨリ授業ヲ開始ス

(五) 文部省直轄諸學校官制摘載(明治二十六年八月勅令第八十六號ヲ以テ制定セラレタルヨリ四十二年四月勅令第八十六號改正マテ)

- 第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ
- 東京高等師範學校
- 廣島高等師範學校
- 東京女子高等師範學校
- 奈良女子高等師範學校
- 盛岡高等農林學校
- 鹿兒島高等農林學校
- 東京高等商業學校
- 神戸高等商業學校
- 長崎高等商業學校
- 山口高等商業學校
- 第一高等學校

- 第二高等學校
- 第三高等學校
- 第四高等學校
- 第五高等學校
- 第六高等學校
- 第七高等學校造士館
- 第八高等學校
- 千葉醫學專門學校
- 仙臺醫學專門學校
- 岡山醫學專門學校
- 金澤醫學專門學校
- 長崎醫學專門學校
- 東京高等工業學校

大坂高等工業學校  
 京都高等工藝學校  
 名古屋高等工業學校  
 熊本高等工業學校  
 仙臺高等工業學校  
 東京外國語學校  
 東京美術學校  
 東京音樂學校  
 東京盲啞學校  
 東京盲學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク  
 校長 教授 生徒監 助教授 書記

第七條 校長ハ敕任又ハ奏任トシ文部大臣ノ命ヲ承ケ校務

ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ敕任又ハ奏任トシ助教教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サレ場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時講師ヲ囑託シ其學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十八條 文部大臣ハ高等師範學校女子高等師範學校高等學校及ヒ東京工業學校教官ノ中ヨリ各附屬學校主事東京教育博物館主事附屬幼稚園主事專門學部主事ヲ命シ其事

務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員  
會ヲ設クルコトアルベシ其委員ハ文部大臣之ヲ命ス

(六) 雇外國人使用方(明治廿六年九月  
敕令第九十六號)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルト  
キハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ  
雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

(七) 文部省直轄諸學校職員定員令抄(明治三十五年勅令第九十九號ヲ以テ發布セ  
ラレタル後明治四十二年勅令第八十八號迄)

第六高等學校	校長	教授	教諭	生徒監	助教	助教諭	訓導	保姆	助手	書記
一	二	八				七				六

(八) 文部省直轄諸學校高等官々等俸給令抄(明治三十二年四月勅令第九十九號ヲ  
以テ發布セラレタルヨリ  
明治四十二年四月勅令第八十七號迄)

第一條 文部省直轄諸學校長ハ高等官二等以下六等以上ト

ス

東京外國語學校長東京音樂學校長東京盲啞學校長及東京  
盲學校長ハ高等官三等以下六等以上トス

第二條 文部省直轄諸學校教官ハ高等官三等以下トス

文部省直轄諸學校教官(東京外國語學校東京音樂學校及東京盲  
啞學校教官及東京盲學校教官ヲ除ク)ニシテ五箇年  
以上高等官三等ニ在リテ特ニ功勞アル者ハ二十七人ヲ限  
リ高等官二等ニ陞叙セラル、コトアルベシ但シ各校二人  
ヲ超ユルコトヲ得ズ

(第三條削除)

第四條 文部省直轄諸學校高等官ノ年俸ハ別表ニ依ル

第五條 文部省直轄諸學校教官ハ其授業ノ時間及學科ノ難  
易輕重ニ依リ最低額以下ノ年俸ヲ給スルコトアルヘシ

第六條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校若クハ數校ノ教

官ヲ兼任スル者ニハ本官並ニ兼官ニ於ケル授業ノ時間及學科ノ難易輕重ニ應シ其ノ本官ノ俸給ヲ分割シテ各學校ヨリ支給スルコトヲ得

第七條 文部省直轄諸學校官制第十五條ニ依リ某學科ノ授業ヲ擔任スル囑託講師ニハ教官俸給額ノ内ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

別表

諸文部省直轄學校校長	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
東京外國語學校校長	三千圓	二千五百圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓
東京音樂學校校長	二千五百圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓
東京音啞學校校長	二千圓	一千八百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓
東京音啞學校校長	二千圓	一千八百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓	一千五百圓
諸文部省直轄學校教授	二千五百圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓	二千圓
諸文部省直轄學校教諭	一千五百圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓	一千圓

(九) 高等學校大學豫科入學者選抜試験規程(明治四十二年)

四月二十一日文部省令第十一號發布全年八月十九日文部省令第十九號ニテ改正)

- 第一條 選抜試験ハ入學志望者ノ數當該高等學校生徒募集人員ニ超過シタルトキ之ヲ行フ
- 第二條 各高等學校ニ入學セシムベキ生徒ノ概數及選抜試験施行ノ期日ハ文部大臣之レヲ告示ス
- 第三條 選抜試験ノ學科目ハ中學校ノ學科目(法制經濟及唱歌ヲ除ク)中ニ就キ毎回文部大臣之ヲ告示ス
- 前項試験ハ中學校卒業ノ程度ニ據ル
- 第四條 選抜試験ハ高等學校長之ヲ行フ
- 第五條 選抜試験ヲ受ケントスルモノハ其入學後修業セントスル部類ヲ指定スベシ

指定スヘキ部類ハ左ノ如シ

第一部甲類

英語法律科  
政治科  
經濟科  
商科

第一部乙類

英語文科  
獨語法律科

第一部丙類

政治科  
獨語文科

第一部丁類

佛語法律科  
政治科  
佛語文科

第二部甲類

工科

第二部乙類

理科  
農科  
醫科ノ内藥學科

第三部

醫科

入學志望者ハ志望類二箇以上(同一部内ノ類ニ限ル)ヲ併セ  
指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ其志望類ノ順位ヲ定ム  
ベシ

第六條 選抜試験ヲ受ケタル者ハ之ヲ第一部第二部及第三  
部ノ三部ニ分チ其試験ノ成績順ニ依リ各高等學校ニ於テ  
各部募集ノ総員ト同數ノ人員ヲ選出シ其ノ内ニ就キ左ノ  
方法ニ依リ入學セシムベシ  
一 選抜試験成績順ニ依リ本人ノ指定スル第一ノ志望類ニ  
配當ス

二 第一號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ抽籤ニ依ル

三 第一號第二號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル第一ノ志望類己ニ滿員トナリ配當スルコトヲ得サル者ニ就テハ更ニ成績順ニ依リ本人ノ指定スル第二以下ノ志望類ニシテ缺員アルモノニ配當ス

四 第三號ノ場合ニ於テ成績相同シキトキハ志望類ノ順位ニ依ル

五 第三號ノ場合ニ於テ成績及志望類ノ順序相同シキトキハ抽籤ニ依ル

六 前數號ニ依リ配當ノ結果本人ノ指定スル志望類悉ク滿員トナリタルトキハ入學スルコトヲ得ザルモノトス

前項ニ依リ配當ノ結果又ハ事故ノ爲メ入學者ニ缺員ヲ生シタルトキハ前項選出人員以外ニ就キ更ニ前項ノ方法ニ

依リ之ヲ補填スベシ

(十) 文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者扱方ノ件 (文部省告示九六號三六、四、三〇)

同一人ニシテ文部省直轄諸學校中ノ二個以上ノ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二個以上ノ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

(十一) 文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄

學校ノ入學試験ヲ受クルノ件 (三八、文部省令一八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケズ他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其入學試験ハ無効トス



○規則

第六高等學校々則

第一章 校規

第一款 總則

第一條 本校ハ明治二十七年勅令第七十五號第二條ニ基キ

明治三十三年文部省令第七號ニ依リ大學豫科ヲ置ク

第二條 本校ノ學科ハ明治三十三年文部省令第十三號所定

ノ大學豫科第一部第二部及第三部トス

第二款 學科課程

第一條 本校大學豫科ノ學科ヲ分チテ第一部第二部及第三

部トス

第一部ハ法科大學及文科大學志望者ニ課スルモノニシテ

其學科ハ左ノ如シ

倫理國語及漢文外國語歷史論理及心理法學通論體操

文科大學志望者ニハ前項ノ學科外ニ經濟通論ヲ課ス

文科大學哲學科志望者ニハ前二項ノ學科中論理及心理

ヲ缺キ數學物理ヲ課ス

外國語ハ英語及獨語ヲ課ス

法科大學志望者ニハ第一項ノ學科外ニ隨意科トシテ羅

旬語ヲ課ス

第二部ハ醫科大學ノ藥學科理科大學工科大學理工科大學

及農科大學志望者ニ課スルモノニシテ其學科ハ左ノ如シ

倫理國語外國語數學物理化學地質及鑛物圖書體操トス

醫科大學ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學

科鑛物學科並ニ農科大學志望者ニハ前項學科ノ外ニ動

物及植物ヲ課シ工科大學及理工科大學ノ土木工學科機

械工學科電氣工學科採鑛及冶金學科工科大学ノ造船學  
 科建築學科理科大學及理工科大学ノ數學科物理學科理  
 科大学ノ星學科並ニ農科大学ノ農學科農藝化學科林學  
 科志望者ニハ測量ヲ課ス  
 外國語ハ英語及獨語ヲ課ス  
 醫科大学ノ藥學科理科大學ノ動物學科植物學科地質學  
 科鑛物學科並ニ農科大学ノ獸醫學科志望者ニハ第一項  
 ノ學科ノ外ニ隨意科トシテ羅句語ヲ課ス  
 第三部ハ醫科大学志望者ニ課スルモノニシテ其學科左ノ  
 如シ  
 倫理國語外國語羅句語數學物理化學動物及植物體操ト  
 ス  
 外國語ハ獨語ノ外英語ヲ課ス

第二條 各學科每週授業時數左ノ如シ  
 (一) 大學豫科第一部英法科

表中( )印アルハ  
 隨意學科トス

學科	第一學年	第二學年	第三學年
倫理			一
國語及漢文	六	五	四
英語	九	九	八
獨語	九	九	八
羅句語			(二)
歷史	三	三	三
論理及心理		二	
法學通論			二
體操	三	三	三

(二) 大學豫科第一部獨法科										
學科	學年	倫理	國語及漢文	英語	獨語	羅語	歷史	論理及心理	法學通論	體操
第一級每週時數			六	四	一四		三			三
第二級每週時數			五	四	一四		三	二		三
第三級每週時數			一	四	二		三		二	三
計			一二	一二	二九		一二	一二	一二	一二

英語ヲ以テ入學シ法科大學政治學科ニ志望スル者ノ外國語ノ授業時數ハ本人ノ志望ニヨリ前表ニ依ルコトヲ得

(三) 大學豫科第一部文科

(三) 大學豫科第一部文科										
學科	學年	倫理	國語及漢文	英語	獨語	歷史	數學	物理	哲學	體操
第一級每週時數			六	四	一四	三				
第二級每週時數			五	四	一四	三	哲學二		其他〇	
第三級每週時數			一	四	二	三	哲學二		其他〇	
計			一二	一二	二九	一二	一二	一二	一二	一二

(四) 大學豫科第二部工科							論理及心理	法學通論	經濟通論	體操	計
數	獨	英	國	倫	專	第一級每週時數					三〇
學	語	語	語	理	年	第二級每週時數	哲學〇			三	三一
						第三級每週時數	其他二			三	二九
五	八	八	三							三	三一
四	七	七								三	二九
六	四	四		一						三	三一

(五) 大學豫科第二部理農藥學科							物	化	地質及礦物	測	圖	體	計
國	倫	專	第一級每週時數										三一
語		年	第二級每週時數				三				四	三	三一
			第三級每週時數				三		講義三 實驗(土木、機械、造船、其他二)	二	二	二	三一
三							三		土木、機械、電氣、採礦及冶金、造船、建築、其他〇	二	二	二	三一
							三			二	二	二	三一
							三			二	二	二	三一

規則

(六) 大學豫科第三部醫科										
學	倫	國	獨	英	羅	數	物	化	動物及植物	體操
理	語	語	語	語	語	學	理	學	學	操
第一級每週時數										
	三	三	一三	三	三	三			四	三
第二級每週時數										
			一三	三		二	三	三	三	三
第三級每週時數										
	一		一〇	三	二		三	三	三	三
講義三 實驗三 講義二 實驗三 講義三 實驗三										

五十一

規則

英	獨	羅	數	物	化	動物及植物	地質及礦物	測	圖	體操
語	語	語	學	理	學	學	物	量	畫	操
八	八		五							三一
七	七		四	三	三					三一
四	四									二
動物、地質、礦物、獸醫、藥(二)其他○ 藥學、動植物、地質、礦物、農學、農藝、林學、獸醫各○其他六 講義三 實驗三 物理、星學、其他二 實驗各○ 其他二 動植物、地質、礦物、農科各科 藥學、各六 講四 其他○ 實二 數學、物理、星學、農學、農藝、林學、各三 其他○ 理科各科、理工科、數學、物理、純正化學、農科各科 各○其他二										

五十

計	二九	三〇	三一
第三款 學年學期及休業			
第一條 學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル			
第二條 學年ヲ分チテ三學期トス			
第一學期 九月十一日ヨリ翌年一月七日マテ			
第二學期 一月八日ヨリ四月七日マテ			
第三學期 四月八日ヨリ九月十日マテ			
第三條 休業日左ノ如シ			
日 曜 日			
本校紀念日 四月十九日			
秋季皇靈祭 秋 分 日			
神 嘗 祭 十月十七日			
天 長 節 十一月三日			

新 嘗 祭 十一月二十三日			
孝明天皇祭 一月三十日			
紀 元 節 二月十一日			
春季皇靈祭 春 分 日			
冬 季 休 業 十二月廿五日ヨリ翌年一月七日マテ			
春 季 休 業 四月一日ヨリ四月七日マテ			
夏 季 休 業 七月十一日ヨリ九月十日マテ			
第四款 入學及在學			
第一條 入學ノ期ハ每學年ノ初メトス			
第二條 本校ニ入學スルコトヲ得ルモノハ明治四十一年三月十九日文部省令第九號ニ該當スルモノタルヘシ			
第三條 本校ヲ退學セシ者及除名セラレタル者再入學ヲ願フトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルベシ			

第四條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ規定ノ宣誓ヲナシ生徒名簿ニ記名シ且ツ九月十日迄ニ父兄若クハ父兄ニ代ハリテ其責ニ任スヘキ者ノ連署セル在學証書(第一號書式)ヲ差出スヘシ

第五條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ指定ノ期日迄ニ入學料金壹圓ヲ納ムヘシ

第五款 生徒心得

第一條 本校生徒タルモノハ教育ニ關スル勅語ノ趣旨ヲ奉體シ眷々服膺シテ須臾モ之ヲ忘ルヘカラス

第二條 本校生徒ハ左ノ五項ヲ服膺スベシ

- 第一項 忠孝ノ大義ヲ明ニシ愛國ノ精神ヲ發揮スベキ事
- 第二項 信義ヲ重シ廉恥ヲ尙ビ輕佻浮薄ノ舉動アルヘカラザル事

第三項 志操ヲ固クシ學業ヲ勵ミ身体ヲ健全ニス可キ事

第四項 質素勤儉ヲ旨トシ言行一致ヲ期シ忍耐ノ氣風ヲ養フベキ事

第五項 規律ヲ守リ禮讓ヲ重シ暴慢放肆ノ行爲アル可ラザル事

第六款 進級及卒業

第一條 各學年ノ末ニ於テ各生徒ノ行狀、勤惰、學業成績等ヲ考查シ合格ノ者ハ進級若クハ卒業セシメ不合格ノ者ハ原級ニ止ム

第二條 學業成績ハ日常ノ課業、通常試業並ニ必要上施行セル場合ニハ學期試業ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第一項 通常試業ハ課業進度ニ應シ教官ノ見込ニヨリ之ヲ施行ス

第二項 學期試業ハ特ニ必要ト認ムル學科ニ限リ各學期ノ末ニ於テ學年ノ始ヨリ當該學期ノ終ニ至ル間ニ履修シタル課業ニ就テ施行ス

第三條 學業成績ノ考查ハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 前條ニヨリ原級ニ止メタル者ニハ次學年ノ始ヨリ當該學級ノ全學科ヲ再修セシム

第五條 卒業成績ハ三學年間ノ學業成績及ヒ行狀勤怠等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第六條 所定ノ課程ヲ履修シ卒業セルモノニハ第二號書式ノ卒業証書ヲ授與ス

第七款 特待生

第一條 品行方正學術優等ナル生徒ヲ選ヒテ本校ノ特待生ト爲ス

第二條 特待生ハ每學年ノ終ニ於テ其學科ノ成績ニ依リ學校長之ヲ選定ス

第三條 特待生ニシテ其資格ニ不適當ノ廉アリト認ムルトキハ直チニ其待遇ヲ解除ス

第八款 休學

第一條 疾病又ハ己ムヲ得ザル事故ニヨリ三ヶ月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ハ願ニヨリ其學年間休學ヲ許可スルコトアルベシ

第二條 休學セント欲スル者ハ疾病ナレハ本校指定ノ醫師又ハ公私病院ノ診斷書ヲ添ヘ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スベキ者ノ連署ヲ以テ願出ツベシ

第三條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ其原級ニ入り修學セシム



一年志願兵服役ノ爲メ休學ノ許可ヲ得タルモノハ滿期後直チニ原級ニ復スルモノトス

第四條 休學ノ事由止ミタルトキハ許可ヲ得テ課業ニ就クコトヲ得

第五條 休學ハ同一學級ニアル間ハ一回ニ限ル但シ一年志願兵服役ノ爲メ休學スル者ハ此限ニアラズ

第九款 退學及除名

第一條 生徒疾病其他事故ニ依リ退學セント欲スルトキハ其事由ヲ詳記シ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スヘキ者ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ

第二條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他學校ノ入學試験ヲ受クルヲ得ス

第三條 左ノ各項ノ一ニ當ルモノハ除名ス

一 正當ノ事由ナクシテ引續キ三ヶ月以上缺席セル者又ハ

同期間出席僅ニ數回ニ止マル者

二 屢遅刻缺席シ出席常ナラザル者

三 二回引續キ同級ニ止マル者

但一年志願兵服役ノ爲メ同級ニ止マル回數ヲ除ク

四 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者

五 授業料寮費ノ怠納三十日ニ及フ者

第四條 除名ニ關シテハ前條ニ指定シタル場合ノ外臨機ノ處分ヲ爲スコトアルベシ

第十款 懲戒

第一條 品行不良或ハ校規風儀ヲ紊亂シ其他生徒ノ本分ニ背戾セル者ハ單ニ形跡ニ拘ハラヌ主トシテ德義ニ基キ之ヲ懲戒ニ處ス

第二條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學、禁足、放校ノ四トス  
 第三條 戒飭ハ訓戒ヲ加ヘ停學ハ教室ニ於テ就學スルコトヲ停止シ禁足ハ生徒寮ヨリ外出スルヲ停止シ放校ハ本校ヨリ放逐スルモノトス

第十一款 授業料

第一條 授業料ハ一學年金參拾圓トシ左ノ三期ニ分納セシム  
 第一學期分九月十一日ヨリ二十四日迄ニ納付金拾貳圓  
 第二學期分一月八日ヨリ二十一日迄ニ納付金九圓  
 第三學期分四月八日ヨリ二十一日迄ニ納付金九圓  
 第二條 授業料ハ缺課停學等ノ爲メ免除セズ  
 但一年志願兵服役ノ爲メ休學スル者ニハ次期以降ノ分納額ヲ免除シ其他ノ休學者ニハ其半額ヲ免除ス

第三條 特待生ニ對シテハ授業料ヲ徴收セズ

第四條 休學、退學、除名、放校等ノ場合ニ於テモ既納ノ授業料ハ還附セズ

第五條 休學者休學ノ事故止ミテ課業ニ就キタルトキハ當期分ノ授業料全額ヲ徴收ス

第六條 定期日內ニ授業料ヲ納メサル者ハ未納中登校ヲ差止メ其怠納三十日ニ及ブモノハ第九款第三條第五項ニヨリ處分ス

第十二款 生徒寮規程

第一條 生徒寮ハ本校生徒ノ常ニ起居シテ身体ヲ鍛鍊シ學術ヲ自修シ品性ヲ陶冶スル處トス

第二條 在寮生徒ハ本校生徒心得ノ趣旨ヲ以テ修身ノ綱領トナスベシ

第三條 本校生徒ハ総テ生徒寮ニ入ルベキモノトス但本校ノ都合ニ依リ通學セシムルコトアルベシ

第四條 本校生徒ハ入寮ノ際第三號書式ノ在寮誓書ヲ差出スヘシ

第五條 在寮生徒ハ猥リニ退寮ヲ許サズ

第六條 在寮生徒ハ毎月定日マテニ寮費金壹圓拾錢ヲ納ムベシ

但シ在寮一ヶ月ニ滿タサル者ト雖モ減額セス

第七條 定期日內ニ寮費ヲ納メサルモノハ登校ヲ差止メ其未納三十日ニ及ブモノハ第九款第三條第五項ニ依リ處分ス

第八條 生徒寮ノ管理ニ關シテハ別ニ細則ヲ設ク

書式

第一號書式

相當印紙

在學証書

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御校在學中ハ校規ヲ誠實ニ遵守可致ハ勿論御校學籍ヲ脱候後ト雖モ在學中ニ生シタル一切ノ義務ハ違背ナク履行可致候若違背致候節ハ連署者ニ於テ一切之ヲ引受可申仍而証書如件

年 月 日 本族籍(戶主又ハ何某男又ハ弟)

現住所

何 某 印

生 年 月 日

本人ノ父兄若クハ父兄ノ責ニ任ズベキモノ

本族籍

現住所

本人ニ對スル關係

何

某

印

生年月日

第六高等學校長宛

第二號書式

卒業証

府縣族籍

何

某

印

何年何月生

右者本校ニ於テ大學豫科第一(二)(三)部ノ學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ証ス

年月日

校印

第六高等學校長位勳學位符姓名

印

番號

第三號書式

印紙

在寮誓書

私儀今般御校生徒寮ニ入寮致候ニ付テハ生徒寮規則其他諸規則堅之相守リ可申此段相誓候也

本籍住所番地

族稱

何科何年生

姓

名

印

生年月

前書何某入寮致候ニ付テハ在寮中ハ勿論退寮後ト雖モ同人 在寮中ニ係ル事件ハ拙者ニ於テ一切負擔致可候也

本人ノ父兄若クハ父兄ノ責ニ任スヘキ者

本族籍

現住所

職業

姓名印

生年月月

第六高等學校長何誰殿

第二章 細則

第一款 教務細則

第一節 授業規程

第一條 授業始ノ時刻ハ振鈴、授業終ノ時刻ハ号鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第二條 生徒ハ授業始ノ振鈴ヲ聞クトキハ直ニ着席シ靜肅

ニ教官ノ入場ヲ待ツベシ

第三條 生徒ハ授業ノ始及終ニ於テ教官ニ對シ起立敬禮スベシ

第四條 授業中ハ教官ノ許可ナクシテ教場外ニ出ツヘカラス

第五條 受持教官定刻ニ至ルモ教場ニ出場セザルトキハ教務課ニ問合セ其指揮ヲ受クルニアラザレバ決シテ隨意退散スベカラス

第六條 生徒教場ニアリテハ休憩時中ト雖モ靜肅ヲ旨トシ喧噪ノ舉動アルベカラス

第七條 課業上必要ナル物品ノ外ハ一切教場内ニ携帯スベカラス

第八條 病氣又ハ己ムヲ得ザル事由ニヨリ缺課又ハ遲參セ

シ者ハ其事由ヲ詳記シ監督教官ノ承認ヲ受ケ三日以内ニ  
 學校長ニ届出ツベシ但病氣缺課一週日以上ニ涉ルトキハ  
 校醫ノ診断書ヲ添フベシ

第九條 不時ノ發病又ハ急用ニヨリ授業半途ヨリ缺課スル  
 モノハ教務課備付ノ帳簿ニ詳細其理由ヲ記入シ當該學科  
 受持教官ノ承認ヲ經テ退出シ尙ホ事後三日以内前條ノ手  
 續ニヨリ届出ベシ

第十條 第八條ノ届出ヲナサ、ルモノハ缺課遲參若クハ半  
 途退出一回毎ニ學年總平均点ヨリ一点ヲ減ス

第二節 生徒心得

第一條 本校生徒ハ本校規則告示命令ニ服從シ特ニ第五款  
 ノ各條ノ趣旨ニ基キ其本分ヲ忘ルベカラス

第三條 本校生徒ハ本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ニ脱

帽敬禮スベシ

第三條 本校生徒ハ嚴ニ飲酒ヲ禁ス

第四條 卑猥ナル稗史小説ノ類ヲ閱讀シ其他風儀ヲ紊スノ  
 虞アル遊戲ヲナスベカラス

第五條 教室内ハ勿論扣所廊下等ニ於テ吐唾又ハ煙草ノ吹  
 殻ヲ棄ツル等總テ汚穢ノ所爲又ハ危險ノ虞アル行爲ヲナ  
 スヘカラス

第六條 屋内ニ於テハ指定場所ノ外喫烟スベカラス

第七條 校内ニ於テハ指定ノ場所ノ外飲食スベカラス

第八條 本校所屬ノ建物及器物ヲ毀損シ若クハ汚染シタル  
 モノハ辨償セシメ情狀ニヨリ懲戒ニ處ス

第九條 別ニ規程ヲ設ケタルモノ、外生徒ガ差出ス願届書  
 ハ總テ監督教官ノ承認ヲ經ベシ

第十條 本校生徒及其父兄若クハ之ニ代ハルモノニシテ其宿所ヲ變更シ又ハ戶籍上異動ヲ生ゼシトキハ速ニ届出ツベシ

第十一條 本校ノ告示ハ所定揭示場ニ發表ノ上ハ一般ニ知了シタルモノト看做スヲ以テ生徒ハ常ニ注意スヘシ

第十二條 本校生徒ハ舉テ本校所定ノ校友會員トナルベキ義務アルモノトス

第三節 學業成績考查細則

第一條 各學科ノ成績ニ對シ評點ヲ附ス之ヲ學期評點及ヒ學年評點ノ二種トシ各一百ヲ以テ最高點ト定ム

第二條 各學科ノ學期評點ハ當該學期間ノ日常ノ課業通常試業及ヒ學期試業ノ成績ニヨリテ定ム

第三條 各學科ノ學年評點ハ各學期評點ノ和ニ第三學期試

業評點ヲ加ヘテ四除シタルモノトス

第四條 學期試業ニ缺席シタルモノニハ零點ヲ附ス、其缺席ノ理由正當ナリト認めタルモノニハ第一、若クハ第二學期試業ニアリテハ他ノ學期評點平均數ノ十分ノ六ヲ附スルコトアルベク第三學期試業ニアリテハ該課目ノ第一、第二學期評點平均數六十以上ナル場合ニ限リ次學年ノ初、始業後二週日以内ニ追試業ヲ行フコトアルベシ

前項ノ追試業ニアリテハ其評點ノ十分ノ八ヲ以テ得點トナス

學期試業ヲ缺グコト二回ニ及ヘル者ニハ學年評點ヲ附セズ

第五條 停學ノ處分ヲ受ケタル者ニハ其期間試業其他ノ方法ニヨリテ評點ヲ附スル事ナク解停後ト雖モ追試業ヲ行

フ事ナシ

第六條 學年ノ終ニ於テ各學科學年評點ノ平均數六十以上ニシテ左ノ諸項ノ一ニ當ルモノハ進級又ハ卒業セシム但シ行狀不正ノモノ又ハ日常ノ授業ニ出缺不整ノモノハ學業成績ノ如何ニ關セズ原級ニ止ム

第一項 學年評點六十未滿ノ科目ナキモノ

第二項 學年評點六十未滿ノモノ一課目アルモ其評點五十以上ノモノ又ハ其評點五十以下四十以上ニシテ第三

學期試業評點或ハ學期評點平均數六十以上ノ者

第三項 學年評點六十未滿ノモノ二科目アルモ其評點孰レモ五十以上ノモノ

第四項 學年評點六十未滿ノモノ三科目以上アルモ其數履修セル總科目ノ三分ノ一或ハ三分ノ一以下ニシテ該

科目皆學年評點五十以上第三學期試業評點或ハ學期評點平均數六十以上ノ者

第四節 生徒寮規程

第一條 在寮生徒ハ生徒寮ノ本旨ニ基キ堅ク本校規則ヲ遵守シ特ニ生徒心得第二條ノ趣旨ヲ体シ其勵行ヲ期スヘシ

第二條 生徒寮ニハ各寮ニ一人ノ委員、各室ニ正副二人ノ委員ヲ置キ學校長之ヲ命ス

第三條 寮委員ハ寮務主任ノ指示ニ從ヒ全寮内整理ノ責任シ風紀ノ振肅ヲ圖ルモノトス

第四條 正副委員ハ室内ノ秩序清潔ヲ保持シ兼テ生徒寮ノ風儀ヲ高尚ニスルコトヲ期スヘシ

第五條 各寮ニ若干名ノ委員ヲ選定セシメ寮務課ノ指揮ニ從ヒ炊事ノ監督ヲナサシム



- 第六條 在寮生徒ハ毎朝室内ヲ掃除シ机上所持品夜具ヲ整頓シ毎土曜日大掃除ヲ行フベシ
- 第七條 晨起就蓐喫飯沐浴門限等ノ時刻ハ決シテ違フベカラズ
- 時刻ハ隨時之ヲ定ム
- 第八條 外出ノ時刻ハ午前六時ヨリ午後九時迄トス
- 第九條 人員検査ハ毎日門限後十分ニ行ヒ其他臨時ニ之ヲ行フ
- 第十條 在寮生徒ハ居常成ルベク制服制帽ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ纏フトキハ必ず袴ヲ着ケ外出スルトキハ必ず制帽ヲ着用スヘシ
- 第十一條 寮内ニ於テ放歌口論雜談遊戲等研修安眠ヲ妨害スル行爲アルヘカラズ

- 第十二條 卑猥ナル稗史小説ヲ閱讀シ又ハ風儀ヲ紊ス虞アル遊戲ヲ爲スヘカラス
- 第十三條 室内ニ於テ一切音讀ヲ禁ス
- 第十四條 在寮生徒ハ嚴ニ飲酒ヲ禁ス
- 第十五條 寮内ニ於テハ指定ノ場所ヲ除クノ外飲食スルコトヲ禁ス
- 第十六條 在寮生徒ハ所定ノ場所ニ非レハ集會スルヲ許サス
- 第十七條 消燈后在寮生徒ノ點燈スルヲ許サス
- 第十八條 室内備付品ノ外猥リニランプ蠟燭机等ヲ備タル者アルトキハ直チニ之ヲ取去ラシム場合ニ依リ之ヲ寮務課ニ留メ置クコトアルベシ
- 第十九條 洋燈后靴ニ研修ヲ要スル者ハ特別自習室ニ於テ

スベシ

第二十條 特別自習室ニ於テ研修スル者ハ決シテ一般生徒ノ安眠ヲ妨グルノ行爲アル可ラス

第二十一條 來訪者ニ對シテハ總テ應接室ニ於テ面會スヘシ

第二十二條 木履又ハ靴ニテ寮ニ上ルヲ許サス一度使用シタル木履又靴ハ室内ニ持入ル可ラズ

上草履ノ使用ハ寮内食堂、病室、浴室ニ限ルモノトス

第二十三條 傳染病若シクハ容易ニ平癒ノ見込ナキ疾病ニ罹リタル者ハ退寮セシム

第二十四條 門限迄ニ歸寮シ得ザルコトヲ豫知シテ外出スル者ハ其事由ヲ詳記シ寮務課ノ允許ヲ得テ外出スベシ

第二十五條 門限後俄カニ不得已事故生シ特ニ外出セント

欲スル者ハ其事由ヲ詳記シ寮務課ノ認許ヲ受クベシ

第二十六條 外出后己ムヲ得サル事故生シ門限ニ遅レテ歸寮セシ者ハ直チニ遅刻ノ事由ヲ詳記シ寮務課ニ届出ツベシ

第二十七條 己ムヲ得サル事故アリテ外泊セントスル者又ハ歸省セントスル者ハ豫メ其事由ヲ詳記シ寮務主任ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十八條 外出中俄ニ外泊スルノ己ムヲ得ザル事故生シ前條ノ手續ヲ爲スニ迫ナキトキハ當日人員検査時刻迄ニ其事由ト居所トヲ寮務課ニ届出デ歸寮ノ際更メテ其理由ヲ詳記シ寮務主任ヲ經テ學校長ニ届出ツヘシ  
第二十九條 正常ノ理由ナクシテ門限ニ遅刻シ又外泊シタル者ハ其情狀ニ依リテ懲戒ニ處ス

第三十條 炊事委員ノ外在寮生徒ハ炊事ニ關シ賄方ニ直接交渉スベカラズ

第三十一條 食料ハ必ス規定ノ期限内ニ支拂フヘシ猥リニ支拂ヲ怠ル者ハ其情狀ニ依リ適宜處分ス

第三十二條 在寮生徒ハ定時刻ノ外猥リニ賄方ヲシテ調膳セシムルヲ許サス

但シ土曜日休業日ノ晝飯及夕飯ニ限り定刻后一時間以内ニ於テハ調膳ヲ求ムルコトヲ得

第三十三條 病氣ノ爲メ特別ノ食物ヲ要スルモノアルトキハ校醫ノ診斷書ヲ添へ其旨寮務課ニ願出ツベシ

第三十四條 豫メ賄方ニ通知シテ一日以上缺食スルニ非ラザレバ食費ヲ減セシムルコトヲ得ズ

第三十五條 通學生ニシテ生徒寮食堂ニ於テ食事スルモノ

ニ對シテハ凡テ生徒寮食事ニ關スル規定ヲ適用ス

第三十六條 寮務課ノ許可ヲ得スシテ猥リニ小使ヲ使役スベカラズ

第五節 通學生徒規程

第一條 通學生徒ハ宿所選定ノ日ヨリ三日以内ニ左記書式ノ宿所届ヲ監督教官ノ承認ヲ經テ本校ニ差出スベシ轉宿ノ時亦同ジ

第二條 通學生徒ハ其宿所ノ位置宿主ノ職業家庭ノ狀態又ハ其他ノ事情ニシテ不適當ナルトキハ他ニ轉宿ヲ命ゼラル、コトアルヘシ

第三條 通學生徒ニシテ生徒寮食堂ニ於テ食事ヲナサント欲スル者ハ豫メ寮務課ニ願出テ許可ヲ受クベシ此場合ニ於テハ生徒寮規則ヲ適用ス

第四條 通學生徒ニシテ生徒寮ニ於テ生徒ニ面會スルニハ  
 必ス生徒寮應接室ニ於テスヘシ  
 宿所届書式

宿所御届

(監督教官檢印)

- 一 宿所
  - 一 家主ノ姓名職業
  - 一 家族ノ數及其狀態
  - 一 同居者ノ姓名職業
  - 一 親族的關係ノ有無
  - 一 一ヶ月ノ報酬額
- 私儀何月何日ヨリ前記ノ所ニ下宿致候間家主連署ヲ以テ  
 此段御届申上候也

年月日

何部何年何組 姓名印

家主 姓名印

第六高等學校長宛

第六節 担任教官級長及副級長規程

- 第一條 各組ニ担任教官一名級長及副級長各一名ヲ置ク
- 第二條 担任教官ハ教授助教及講師中ヨリ學校長之ヲ任  
命ス
- 第三條 担任教官ハ其管掌スル當該組ノ風紀ヲ正シ學事ヲ  
監督シ及校規命令ノ實行ヲ期スベシ
- 第四條 担任教官ノ管掌スヘキ事務ハ概ネ左ノ諸項トス  
一 生徒ノ學業獎勵及風儀取締ニ關スル事項  
一 命令ノ傳達諭告等ニ關スル事項

- 一 生徒ノ届書類願書ニ關スル事項
  - 一 生徒ノ勤怠及學業成績ノ審査ニ關スル事項
  - 一 教室備付品ノ整理保存ニ關スル事項
  - 一 教室内ノ衛生ニ關スル事項
  - 一 其外當該組ニ關スル一切ノ事項
- 第五條 担任教官ハ學期末及學年末ニ於テ教務課ヨリ回附スル學業成績調査簿ヲ審査シ學校長ニ進達スベシ
- 第六條 級長副級長ハ生徒ヲシテ各三名ヲ互選セシメ其中ニ就キ學校長之ヲ命ス
- 第七條 級長副級長ハ担任教官ノ指揮ヲ受ケ當該組ノ風紀ニ注意シ命令ヲ傳達シ教室ノ秩序整頓ヲ保持スヘシ
- 第八條 担任教官級長副級長ノ任期ハ各一ケ年トス
- 第七節 監督教官規程

- 第一條 本校生徒ヲ數部ニ區分シ各部ニ監督教官一人ヲ置キ部下生徒ノ保護監督ノ任ニ當ラシム
- 第二條 監督教官ハ教授助教講師中ヨリ學校長之ヲ命ス
- 第三條 監督教官ハ部下生徒ノ品性學業健康等ニ關シテ特ニ注意ヲ加ヘ機宜ニ應シテ訓戒補導ヲ爲シ本校々規第五款ニ基キ生徒ノ本分ヲ全クセシムルコトヲ期スベシ
- 第四條 監督教官ハ師弟間ノ情誼ヲ厚クシ前條ノ目的ヲ達センカ爲メ適宜ニ部下生徒ノ集會ヲ開クベシ
- 第五條 監督教官ハ部下生徒ヨリ本校へ差出スベキ缺課轉宿休學其他總テノ願届書ヲ審査シ正當ト認ムルトキハ之ニ捺印スヘシ
- 第八節 評議員規程
- 第一條 本校ニ評議員若干名ヲ置ク

第二條 評議員ハ本校教授中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第三條 評議員ハ學校長ノ諮詢ニ應シ意見ヲ述ス

第九節 教授會規程

第一條 教授會ハ本校教授ヲ以テ之ヲ組織シ學校長之ヲ召集ス

但シ場合ニヨリ教授以外ノ職員及講師ヲシテ列席セシムルコトアルベシ

第二條 教授會ハ學校長ノ諮詢ニ應シ左ノ事項ニ付キ審議ス

一 學科課程ニ關スル事項

一 授業ニ關スル事項

一 生徒ノ懲戒ニ關スル事項

一 生徒ノ監督ニ關スル事項

一 生徒寮ニ關スル事項

一 前項ノ外學校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第三條 教授會ハ必要ニ應シ隨時之ヲ開クモノトス

第十節 服裝規程

第一條 本校生徒ノ服裝ハ左ノ如ク之ヲ制定ス

帽

制式 海軍形

品質 羅紗

色 黑

畧 帽

制式 綠三寸五分高二寸五分鉢卷黑布巾一寸五分

徽章 正帽ニ全シ

品質 麥藁

帽章

制式 前額部ハ本校所定ノ徽章ヲ附ス  
外ニ額部ノ周圍ニ白線二條ヲ附ス  
但シ上線ハ幅一分下線ハ幅三分トス

品質 真鍮

冬服

制式 立襟

品質 小倉若クハセル

色 紺

鈕釦 色黄品質真鍮、本校ノ徽章ヲ附セルモノ

夏服

制式 冬服ニ同シ

品質 小倉

外套

色 鼠

鈕釦 冬服ニ全シ

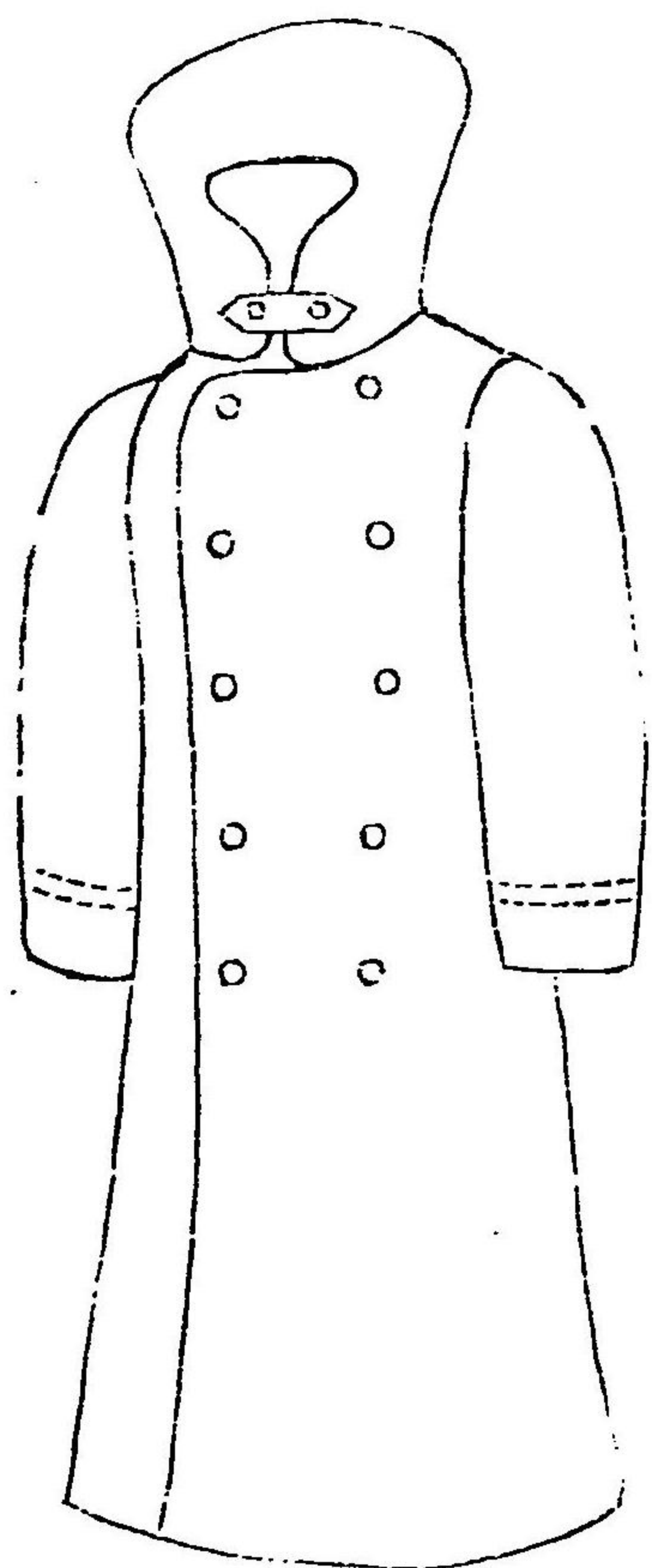
外套

制式 (圖ノ如シ)

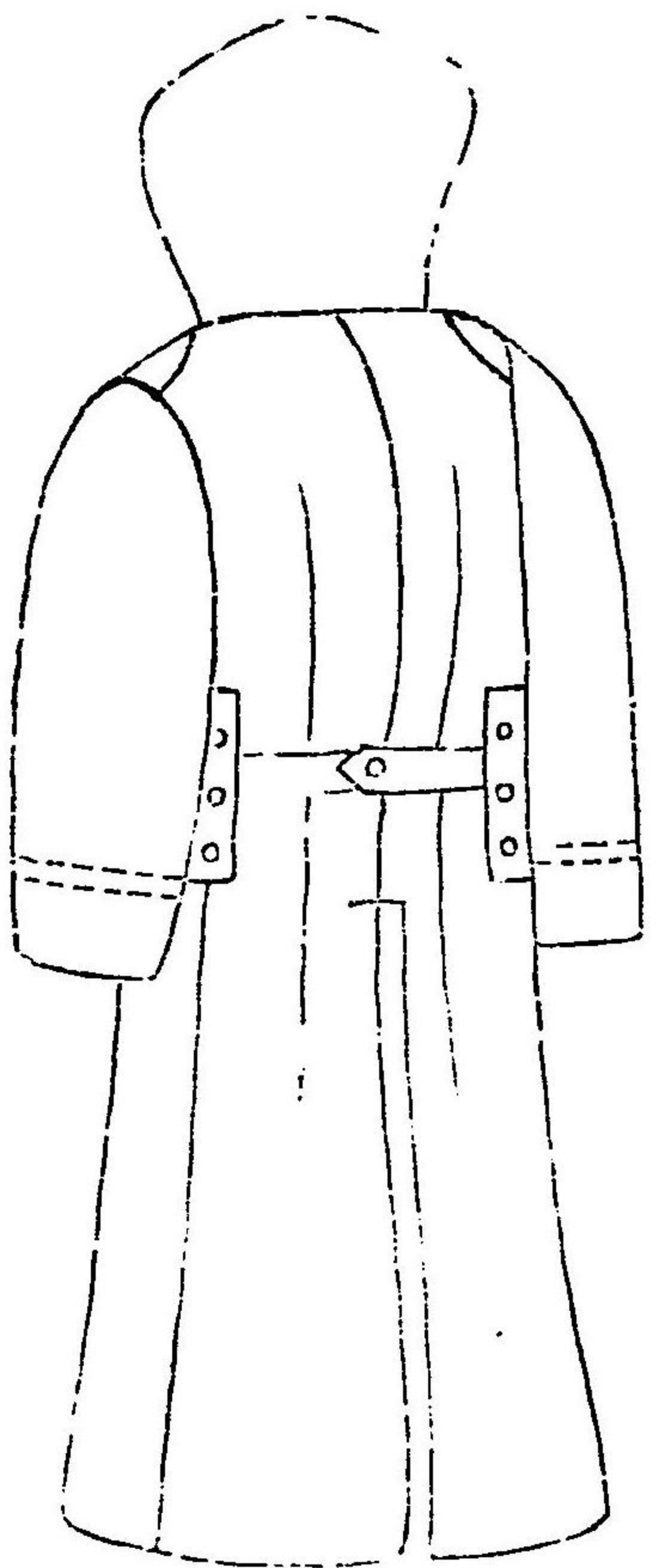
品質 (黒又ハ紺ノ羅紗)

鈕釦 (上着ト同シ)

前面



背面



制式 黒革靴

第二條 左ノ場合ニハ前條制定ノ服裝ヲナスベシ

一 儀式舉行ノ場合

一 授業ヲ受クル場合

一 本校ヨリ特ニ指定シタル場合

第三條 生徒ハ居常成ルベク制服ヲ着用スベシ若シ和服ヲ

着用スルトキハ必ス着袴シ外出ノトキハ更ニ制帽ヲ着スベシ

第十一節 生徒取締規程

第一條 生徒一般ノ風紀ヲ振肅スル爲メ生徒取締ヲ置ク

第二條 生徒取締ハ生徒監ノ指揮ヲ受ケ左ノ事項ヲ管掌ス

一 校ノ内外ニ於ケル生徒ノ取締ニ關スル事項

二 校舎内外ノ整頓ニ關スル事項

三 生徒集會ニ關スル事項

四 生徒服裝ニ關スル事項

五 其他風紀ニ關シ臨時必要ト認ムル事項

第三條 生徒取締ハ職務執行ニ關シテ巡視門衛ヲ指揮スルコトヲ得

第四條 生徒取締ハ定時生徒監ヲ經由シ管掌事項ニ付キ學



校長ニ申報スヘシ

第二款 掌務細則

第一節 校務分掌規程

第一條 校務ヲ分掌セシムル爲メ左ノ各課ヲ置ク

教務課

生徒課

寮務課

庶務課

會計課

文庫課

第二條 各課ニ課長ヲ置ク

第三條 各課ノ課長ハ學校長教授中ニ就キ之ヲ命ス但シ寮務課長ハ生徒監中ニ就キ之ヲ命シ會計課長ハ會計主任ヲ

以テ之ニ充ツ

第四條 各課ノ課長ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ當該課ニ關スル

事務ヲ掌理スヘシ

第五條 各課ニ係員ヲ置ク上官ノ指揮ヲ受ケ各其課ノ事務

ヲ處理ス

第六條 教務課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

一 學課配當ニ關スル事項

二 教科書ニ關スル事項

三 授業上設備ニ關スル事項

四 教室ニ關スル事項(但特別教室ヲ除ク)

五 生徒ノ訓育及懲戒ニ關スル事項

六 教官會議及評議員會ニ關スル事項

七 教務上ノ命令傳達並ニ通知ニ關スル事項

- 八 生徒ノ入學、在學、退學、休學ニ關スル事項
- 九 生徒ノ學籍ニ關スル事項
- 十 卒業生ニ關スル事項
- 十一 學級編成ニ關スル事項
- 十二 試業及成績ニ關スル事項
- 十三 學力檢定ニ關スル事項
- 十四 特待生ニ關スル事項
- 十五 生徒證明書等ニ關スル事項
- 十六 生徒修學旅行等ニ關スル事項
- 十七 參觀人取扱ニ關スル事項
- 十八 前項ノ外教務ニ關スル一切ノ事項
- 第十七條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 生徒ノ風紀取締及衛生ニ關スル事項

- 二 生徒ノ体格檢査ニ關スル事項
- 三 生徒ノ訓誨及懲戒ニ關スル事項
- 四 生徒ノ勤惰ニ關スル事項
- 五 生徒扣所ノ整理ニ關スル事項
- 六 生徒ノ願、伺、届、等ニ關スル事項
- 七 生徒ノ集會、運動會及文書類ニ關スル事項
- 八 監督會ニ關スル事項
- 九 團體旅行ノ取締ニ關スル事項
- 十 級長及副級長ニ關スル事項
- 第八條 寮務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 在寮生徒ノ風紀及衛生ニ關スル事項
- 二 在寮生徒ノ訓育及取締ニ關スル事項
- 三 在寮生徒ノ懲戒ニ關スル事項

- 四 在寮生徒ノ集會及文書類ニ關スル事項
  - 五 生徒寮附所病室浴室其他生徒寮附屬建物ノ整理ニ關スル事項
  - 六 生徒寮ニ屬スル守衛及賄方取締ニ關スル事項
  - 七 前項ノ外生徒寮ニ關スル事項
- 第九條
- 一 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 二 御聖影及勅語ノ保管ニ關スル事項
  - 三 校長ノ官印及校印ノ保管ニ關スル事項
  - 四 雇員以上ノ職員ノ進退身分ニ關スル事項
  - 五 備外國人ニ關スル事項
  - 六 各課成按文書回議ノ審査ニ關スル事項
  - 七 公文書類ノ起案記錄ノ編纂及保管ニ關スル事項
  - 八 公文書類ノ授受發送ニ關スル事項

- 八 諸規則ノ制定變更等ニ關スル事項
  - 九 一覽統計報告等ニ關スル事項
  - 十 儀式ニ關スル事項
  - 十一 常直ニ關スル事項
  - 十二 寄附願ニ關スル事項
  - 十三 生徒ノ兵役ニ關スル事項
  - 十四 各課ノ主掌ニ屬セザル校務上ノ事項
- 第十條
- 一 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 二 資金ノ監理ニ關スル事項
  - 三 資金ノ豫算及決算ニ關スル事項
  - 四 歳入歳出豫算及決算ニ關スル事項
  - 五 歳入ノ確定收入及証明ニ關スル事項
  - 六 歳入ノ確定收入及証明ニ關スル事項

- 六 物品ノ保管及購買ニ關スル事項
- 七 物品ノ貸借及修理ニ關スル事項
- 八 物品ノ出納及証明ニ關スル事項
- 九 營繕ニ關スル事項
- 十 警備並ニ災害ノ防止及消毒ニ關スル事項
- 十一 本校内外ノ掃除ニ關スル事項
- 十二 不用物品ノ處分ニ關スル事項
- 十三 電話、電燈及給水ニ關スル事項
- 十四 巡視、給仕、校丁以下ノ進退及取締ニ關スル事項
- 十五 門鑑ニ關スル事項
- 十六 人夫ノ傭入及其取締ニ關スル事項
- 十七 物品ノ運搬並ニ收受但小包郵便ヲ除クニ關スル事項
- 十八 前項ノ外會計ニ關スル事項

第十一條 文庫課ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 圖書ノ監守、保管及出納ニ關スル事項
- 二 圖書印ノ保管ニ關スル事項
- 三 圖書ノ貸付ニ關スル事項
- 四 圖書閱覽室及其取締ニ關スル事項
- 五 圖書ノ目錄編纂及整理ニ關スル事項
- 六 新聞雜誌年報一覽等ノ保管及出納ニ關スル事項
- 七 前項ノ外圖書ニ關スル事項

第二節 事務員服務規程

第一 事務員

第一條 事務員ハ執務時限前ニ昇校シ直ニ出勤簿ニ捺印ス

第二條 當日ニ生シタル事務ハ可成即日處辨スヘシ若シ即

日處辨スヘキ事務ニシテ執務時間中ニ處辨シ終ラサルモノアルトキハ退校時限ニ至ルト雖モ事務處辨ノ後ニアラサレハ退校スルコトヲ得ス

第三條 監督上官ヨリ特ニ命令アルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖トモ執務スヘシ

第四條 疾病其他ノ事故ニヨリ遅刻セントスルトキ又ハ出勤シ難キ時ハ其事由ヲ具シ執務時限前ニ學校長ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲メ缺勤一週間ニ及フトキハ届書ニ醫師診斷書ヲ添フルヲ要ス爾後一週間毎ニ同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 執務時間中發病其他ノ事故ニ依リ執務ノ場所ヲ離レントスルトキハ其事由ヲ申告シテ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 父母ノ忌日ニ丁リ祭典ヲ舉行スル爲メニ不參セムトスルモノハ其旨前日中ニ届出ツヘシ

第七條 親屬ノ喪ニ遇ヒ忌服ヲ受クルトキハ死者ノ氏名並ニ死者トノ親族關係ヲ表示シタル忌引届ヲ差出スヘシ

第八條 新任ノ者ハ七日以内ニ履歷書印鑑及宿所届ヲ差出スヘシ爾後改印轉居等ハ其都度届出ツヘシ

第九條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發ノ際及歸校ノ際共其旨學校長ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ歸校後五日以内ニ復命書ヲ學校長ニ提出スヘシ若シ學術研究ノ爲メ出張ヲ命セラレタル場合ニ在リテハ研究ノ結果ヲ報告スヘシ

第十條 出張旅費請求書ハ歸校後三日以内ニ差出スヘシ又出張先ニ於テ臨時必要ヲ生シタル費用即荷造用ノ物品代

若シクハ郵便電信料等私費繰替拂ヲ爲シタルモノアルト  
キハ歸校後三日以内ニ仕譯書ヲ添ヘ會計課ニ請求スヘシ  
但シ私費繰替ノ償還請求ニハ確實ナル証憑ヲ添付スルヲ  
要ス

第十一條 轉免ノ節ハ事務及物品等ノ引繼ヲ爲スヘシ引繼  
ハ書面ヲ受渡者双方連署ヲ以テ届出ツヘシ

第十二條 火器其他危險物ニ付テハ擔當事務ニ屬スルト否  
トヲ問ハス事務員互ニ注意シ十分取締ヲ爲スヘシ

第十三條 風水震災其他非常異變アルカ又ハ校内若シクハ  
其近傍ニ於テ出火アルトキハ速ニ昇校シテ上官ノ指揮ニ  
從フヘシ

附則

第十四條 本則ハ教官及囑託者ニ準用ス

第二 當直

第十五條 本校當直勤務ハ本校書記及事務雇員輪番ヲ以テ  
一名宛之ニ任ス其順番ハ別ニ之ヲ定ム

當直勤務ハ場合ニヨリ前項職員以外ノモノニモ命スルコ  
トアルベシ

第十六條 當直時間ハ左ノ如ク定ム

一 平日ハ退校時限ヨリ翌日昇校時限迄トス

二 休日ハ其日ノ昇校時限ヨリ翌日ノ昇校時限迄トス  
但シ昇校時限ハ當時ノ執務時間ノ規定ニ從フ

第十七條 左ノ諸項ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一 出張ヲ命セラレタル者ハ出張中ハ勿論出張ノ前日  
及歸校ノ翌日

二 病氣其他ノ事故ニヨリ本務ヲ缺クモノハ缺勤届出

ノ當日

第十八條 前條ノ事由ニヨリ除直スルモノアルトキハ當直  
順ハ順次繰上トス

第十九條 當直者已ムヲ得サル事故ニヨリ他ノ當直ノ義務  
アル職員ヲシテ代番セシメントスルトキハ其旨連署ヲ以  
テ届出ツヘシ

第二十條 當直ノ義務アル職員新任ノ時ハ出校ノ日ヨリ起  
算シ一週日ノ後當直順番ニ挿入ス此場合ニ於テハ他ノ當  
直者ノ順番ハ當然順次繰下クルモノトス又轉免者アルト  
キハ順番ノ繰上ヲナスヘシ

第二十一條 當直勤務主要ナル事項ハ概テ左ノ如シ  
一 聖影奉安室及其他ノ鎖鑰並ニ當直日誌ノ保管ヲナ  
スコト

二 巡視校丁等ヲ監督シ校舍内外一切ノ取締ヲ爲スコ  
ト

三 往復物件ヲ處分スルコト

四 火器其他火災ノ虞アル器物ニ對シ注意スルコト

第二十二條 當直日誌ニハ左ノ諸件ヲ記載スルヲ要ス

一 當直ノ年月日並ニ宿直者ノ氏名捺印

二 巡視校丁火夫ノ氏名

三 到着若クハ發送セシ物件ノ目錄

四 以上諸項ノ外當直中處理シタル事項

第二十三條 當直日誌ハ翌日庶務課長ノ監査ヲ經ヘシ

第二十四條 宿直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

一 親展公文書並ニ職員宛私文書及其他ノ物件ハ其儘  
之ヲ留置キ翌日受附係ニ交付シ表記氏名ヲ示サバ

ルモノハ各課長ニ引渡スヘシ但外見急速ヲ要スルモノト認め得ヘキモノハ直ニ宛名ノモノ若クハ各課長ニ送達スヘシ

一 親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ即時之ヲ處理スヘシ

第二十五條 當直中出火近火ハ勿論風水震災盜難等非常ノ異變アルトキハ直ニ學校長ニ其旨ヲ急報シ狀況ニ應シ直ニ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第三節 生徒寮掌規程

第一 寮務課長

第一條 寮務課長ハ生徒ヲ集メテ訓戒ヲ加ヘ生徒寮ニ出頭シテ平生ヲ視察スル等常ニ生徒ノ訓育ニ注意シ生徒寮規則第一條及第二條ノ趣旨ニ基キ其實効ヲ舉タル事ヲ期ス

ヘシ

第二條 寮務課長ノ處理スヘキ主要ナル事項ハ左ノ如シ

- 一 寮務掛ノ監督
- 二 生徒ノ訓戒、取締、懲戒ニ關スル件
- 三 寮務日誌其他重要ナル書類ノ監査
- 四 生徒ノ集會ニ關スル件
- 五 生徒ノ體格檢査及體育情況ノ視察
- 六 生徒寮備品消耗品ノ保管
- 七 賄方ニ關スル件
- 八 校醫ノ監督
- 九 寮内火災ノ警備
- 十 寮内一般衛生

第二 寮務掛



第三條 寮務掛ハ上官ノ指揮ヲ受ケ寮務ニ關スル日常ノ事務ヲ取ルヘシ

第四條 寮務掛ノ處理スヘキ主要ナル事項ハ概テ左ノ如シ

- 一 生徒寮ニ屬スル巡視、門衛寮丁ノ監督
- 二 火災警備衛生ニ關スル注意
- 三 定時人員點檢並ニ在寮生ノ出入ニ關スル監視
- 四 生徒食品ノ監査
- 五 在寮疾病者ノ手當
- 六 生徒寮備品、消耗品ノ整理
- 七 寮務課ニ屬スル課長印及寮印其他所屬書類ノ保管

第五條 實例ナキ事項ハ總テ寮務課長ノ指揮ヲ受ケテ後處理スヘシ若シ至急處分ヲ要スル事項ニシテ指揮ヲ受クルノ暇ナキ時ハ假ニ處分シ其由ヲ寮務課長ニ申告スヘシ

第六條 經伺ヲ要スル事件ハ寮務課長校長ニ進達スヘシ

第四節 文庫規程

第六十一條 文庫ハ本校ノ圖書ヲ貯藏スル所トス

第六十二條 文庫ニ圖書閱覽室ヲ設ク

第六十三條 文庫課員ノ外圖書類ノ出納ヲナスコトヲ得ス

第六十四條 本校職員ニ限リ職務上必要ナル圖書ヲ借受ケ之ヲ文庫外ニ持出スコトヲ得

第六十五條 總テ教室ニ備付ヲ要スル圖書類ハ其學科主任教官之ヲ借受ケ之カ保管ニ任ス

第六十六條 本校職員圖書類ヲ借受ケント欲スルトキハ所定ノ借用証書ヲ差出スヘシ

第六十七條 借受ケタル圖書ノ使用ヲ終リタルトキハ直チニ返納スヘキハ勿論毎年豫定ノ期日迄ニ悉ク返納スヘシ

但時宜ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第六十八條 總テ貸附セル圖書類ハ每學年末指定ノ期日ニ於テ文庫課員立合ノ上調査スヘシ

第六十九條 凡ソ借受ケタル圖書類ヲ汚瀆毀損若クハ紛失シタルトキハ其事情ニ依リ相當ノ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ代品ヲ以テ之ヲ償ハシムルコトアルヘシ

第七十條 前條ノ場合ニ於テハ借受者ハ速ニ其理由ヲ詳記シタル屆書ヲ文庫課長宛差出スヘシ

第七十一條 圖書類ハ一切生徒ニ貸付セス  
但シ圖書閱覽室備附ノ圖書ハ此限ニ非ラス

第七十二條 本校職員ニ非ラサルモ學術篤志ノ者ニシテ圖書閱覽ヲ出願スルトキハ學校長特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

附圖書閱覽室規程

第一條 本校文庫内ニ圖書閱覽室ヲ設ク

第二條 圖書閱覽室ハ本校職員生徒ノ備付圖書ヲ閱覽スル所トス

第三條 閱覽室ハ休日(但シ日曜ヲ除ク)ノ外毎日之ヲ開ク

第四條 閱覽室ハ毎日午前八時ニ開キ午後九時ニ閉ツ  
但シ日曜日ハ午后五時ヨリ之ヲ開ク

第五條 生徒ハ學年ノ始メニ於テ文庫課ヨリ閱覽券ヲ受取ルベシ

第六條 圖書ヲ借受ケント欲スルモノハ指定ノ證書用紙ニ著者名書名部門番號冊數姓名年月日等ヲ詳記シ閱覽券ト共ニ之ヲ課員ニ渡スヘシ

第七條 閱覽者ハ一時ニ洋書五冊和書十冊以上ヲ借受クル

コトヲ得ス

第八條 閱覽室備付ノ圖書ハ凡ヘテ之ヲ室外ニ持出スコトヲ得ズ

第九條 借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルヲ許サス

第十條 借受ケタル圖書ノ閱覽ヲ了リタルトキハ直ニ之ヲ返納シ閱覽券ヲ受取ルヘシ

第十一條 閱覽室内ニテハ一切音讀談話等其他喧噪ノ舉動ヲナスヘカラズ

第十二條 借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損破損若クハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第十三條 前條ノ規程ニ違反スル者ハ退室ヲ命ス

第五節 第六高等學校物品會計規程細則

第一條 當校所要ノ物品ハ會計課ヨリ之ヲ支給ス

第二條 通常所要ノ備品消耗品ハ豫定數ニ基キ物品會計官吏ニ於テ一回又ハ數回ニ交付ノ手續ヲナスヘシ

但學術用圖書器械標本實驗用品其他臨時所要ノ物品ハ所要ノ都度請求スヘシ

第二條ノ二 各部ニ於テハ毎月下旬ニ翌月中所要ノ通常消耗品ノ品目數量ヲ取調べ物品會計官吏ニ報告スヘシ

但シ本文ノ數量ハ支給豫定數ニ超過スルコトヲ得ズ  
(明治三十七年五月追加)

第三條 各部ニ於テ臨時所要ノ物品アルトキハ規定ノ請求用紙ニ品名數量所要ノ事由等ヲ詳記シ當該首席者ヲ經由シテ會計課ニ差出スヘシ

但シ注文上圖按ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

第四條 會計課ニ於テ前條物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ必

要ニシテ適當ナルヤ否ヲ調査シ正當ト認メタルトキハ會計主任及物品會計官吏ヲ經テ校長ニ提出シ受入及支給ノ命令ヲ受ケ購入ノ手續ヲナスヘシ

第五條 物品監守者ハ會計課ヨリ物品ヲ受領シタルトキハ帳簿又ハ證書ニ捺印シテ受領ヲ證スヘシ

第六條 各部ニ於テ不用ニ屬シタル物品アルトキハ監守者ニ於テ規定ノ返付用紙ニ品目數量受領年月日等ヲ記入シ現品ト共ニ直ニ會計課ニ返付スヘシ

第七條 各部ヨリ不用ニ屬シタル物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ物品會計官吏之ヲ調査シ爾後使用ニ堪ユヘキモノハ之ヲ保管シ其目的ナシト認メタルモノハ處分按ヲ具シ物品檢閱委員ノ審査ヲ經テ校長ノ裁決ヲ乞フヘシ

第八條 物品監守者更替シタルトキハ新監守者備品其他ノ

監守簿ニ其受領年月日ヲ記入シ且ツ記名捺印スヘシ

第九條 職員分課ヲ轉シタルトキ從前受領ノ物品ヲ費用セントスルモノハ甲課ニ於テハ返付ノ手續ヲナシ乙課ニ於テハ更ニ受領ノ手續ヲナスヘシ

第十條 職員轉免等ニテ不要ニ屬シタル物品ハ當該監守者ニ於テ取纏メ會計課ニ返付スヘシ

第十一條 本規程第九條ニ依リ物品會計官吏ハ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

- 一 備品出納簿
- 一 圖書出納簿
- 一 機械出納簿
- 一 標本出納簿

以上ノ四帳簿ハ備品、圖書、機械及標本ノ出納即チ品目數

量價格納人名及渡シ先等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但シ圖書出納簿ハ部門毎ニ機械出納簿標本出納簿ハ各學科ニ區分シ口座ヲ設クヘシ

當分標本出納簿ハ器械出納簿中ニ別口座ヲ設ケ登記スルコトヲ得

一 消耗品出納簿

本簿ハ消耗品ノ出納即チ品目數量價格納人名及渡シ先等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

一 備品支給簿

本簿ハ命令文書ニ基キ備品ヲ支給シタルトキ其品目數量番號受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

一 通常消耗品支給簿

本簿ハ支給定數ニ基キ支給スル物品ノ品目數量等ヲ記入シ監守者ヲシテ受領ノ印ヲ捺セシムルモノトス

第十二條 文庫課ニ於テハ圖書監守ノ爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 圖書監守簿

本簿ハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名冊數受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但圖書原簿ヲ以テ本條ノ監守簿ニ代用スルコトヲ得

第十三條 物理學教室、化學教室、生物學教室、地質及鑛物學教室、圖書及測量教室、体操科ニ於テハ器械及標本監守ノ爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 機械監守簿

一 標本監守簿

本簿ハ各學科所屬ノ器械及標本ノ品目個數受授年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

但シ當分備品監守簿中ニ別口座ヲ設ケ登記スルコトヲ得

第十四條 各部ニ於テハ物品ノ監守及遣拂高ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一 備品監守簿

本簿ニハ備品ノ品目個數記番號及受授ノ年月日等ヲ登記シ其現在高ヲ明瞭ニスルモノトス

一 通常消耗品受拂簿

本簿ニハ支給定數ニ依リ受領シタル通常消耗品ヲ每品口座ヲ設ケ其受拂ヲ明記スルモノトス(明治三十七年五

月通常消耗品殘額報告簿ノ項ヲ刪ル)

(第十五條ハ明治三十七年五月刪除)

第十六條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ事項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一 毎年一回備品支給簿及消耗品支給簿ニ依リ各掛ニ付キ

現品ヲ査閲シ及各掛ノ備品監守簿消耗品受拂簿ノ調査

ヲナシ意見アルトキハ校長ニ申報スルコト

一 前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又

ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ校長ニ申報シ其處

分ヲ求ムルコト

第十七條 物品ヲ毀損シ或ハ紛失シタルモノアルトキハ物

品監守者ニ於テ其實事ヲ詳記シ當該首席者之レヲ證明シ

テ物品會計官吏ニ報告スヘシ

但シ物品會計官吏ニ於テ保管セル物品ヲ毀損シ或ハ紛失シタルトキハ本文ニ準シ直ニ會計主任ニ報告スヘシ

第十八條 物品會計官吏前條(但書ヲ)ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計主任ニ回付シ會計主任ハ物品檢閲委員ト共ニ其實ヲ審査シ處分按ヲ具シテ校長ノ裁定ヲ乞フヘシ

第十九條 本規程第十四條第一項ニ依リ校長ハ物品檢閲委員ヲ設ケ毎年其時日ヲ定メテ或ハ臨時ニ當校所有物品ノ保管及使用并消費上ノ可否ヲ検査セシム

第二十條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ毎年六月之ヲ任命シ其任期ハ翌年五月ニ終ル

第二十一條 物品檢閲ノ期日及檢閲委員ノ氏名ハ豫メ各部ヘ通牒スルモノトス

第二十二條 物品檢閲委員ノ検査スヘキ要項ハ左ノ如シ

一 物品保管ノ適否

一 物品使用ノ適否

一 物品缺損ノ有無

一 備品及消耗品支給定數ノ過不足

一 其他ノ事項

第二十三條 物品檢閲ノ際ハ在庫ノ物品ニ付テハ物品會計官吏若クハ代理者使用中ノ物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘキモノトス

第二十四條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障アルトキハ當該責任者ヨリ領末書ヲ差出サシムヘシ

但シ領末書ニハ當該主席者ノ檢印ヲ要ス

第二十五條 物品檢閲委員其檢閲ヲ終リタルトキハ檢閲ノ

情況及物品一股ノ現情並ニ物品ノ使用及支給上ノ適否ニ付意見ヲ具シ校長ニ申報スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員長ハ物品檢閲上必要ナリト認ムルトキハ校長ノ認可ヲ經テ書記ヲ設ケ校員ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十七條 本規程第十八條ニ依リ設定セル帳簿ノ様式ハ別紙ノ如シ

(別紙略)

附 錄

(一) 食費ニ關スル規程

第一條 食費ハ毎月十六日ヨリ末日迄ニ支拂フモノトス若シ期限内ニ支拂得サル者ハ必ス翌月十日迄ニ支拂フヘシ

第二條 前條ノ規程ニ背キタル者ハ食費完済ニ至ル迄停學

ヲ命ズ

第三條 通學生徒ニシテ食堂ニ於テ喫食セントスル者ハ先ツ寮務課ニ願出テ其許可ヲ受クヘシ

第四條 食堂ニ於テ喫食スル通學生ニ對シテハ在寮生ト等シク食事ニ關スル規程ヲ準用ス

(二) 本校生徒ニシテ入學試験ヲ受クルノ件

本校生徒ニシテ修學部類ヲ變更センカ爲メニ在學ノ儘更ニ高等學校ノ入學試験ヲ受ケントスルトキハ豫メ學校長ノ許可ヲ得ルヲ要ス

右場合ニ於テ試験ヲ受クルノ目的單ニ學校ヲ變更セントスルニ在ルトキハ之ヲ許可セス

(三) 授業料及寄宿料徴收細則

並ニ未納者取扱手續

(四二九、三二、發表)



- 第一條 授業料及寄宿料徴收期日ハ本校規則第一章第十一款 授業料第一條及ヒ第一章第十二款生徒寮規程第六條ニ據リ之ヲ徴收ス
- 第二條 授業料及寄宿料徴收期日ヲ過キテ納付ノ義務ヲ生シタルモノハ其義務ヲ生シタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ徴收ス
- 第三條 授業料及寄宿料ハ徴收期日内ニ於テ一定ノ納付書ニ依リ會計課ニ於テ之ヲ徴收スベシ
- 第四條 會計課ニ於テ前條納付書ニ依リ現金ヲ領收シタルトキハ既定ノ領收証書ヲ交付スベシ  
但シ 授業料ニ在テハ第二學期及第三學期寄宿料ニ在テハ翌月ヨリ豫テ交付セル領收証書ヲ納付書ニ添へ提出セシムルモノトス

- 第五條 病氣其他ノ事故ニ依リ歸郷又ハ他ノ地方ニアルモノハ郵便爲替ヲ以テ納付セシムルモノトス
- 第六條 領收証書ヲ遺失亡失シタルモノアルトキハ本人ヨリ理由書ヲ提出セシメ更ニ交付スベシ
- 第七條 授業料及寄宿料納期日内ニ納付セザルモノアルトキハ會計課ニ於テハ其未納者ノ氏名ヲ授業料ニ在テハ生徒課ニ寄宿料ニ在テハ寮務課ニ通知スベシ
- 第八條 會計課ニ於テハ前條未納者ヨリ徴收シタルトキハ即日授業料ニ在テハ生徒課ニ寄宿料ニ在テハ寮務課ニ之ヲ通知スベシ
- 第九條 怠納三十日ニ及フモ尙ホ納付セサルモノアルトキハ會計課ハ更ニソノ氏名ヲ教務課ニ通知スベシ
- 第十條 教務課ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ本校規則

則第一章第九款第三條ニ依リ處分シ其結果ヲ會計課ニ通知スヘシ

第十一條 會計課ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係帳簿ニ記入シ該通知書ハ會計検査ノ資料トシテ編纂保管スベシ

(四)重要揭示

○揭示場ニ生徒ヨリ揭示ヲ爲スノ件(四二九、六發表)  
一 校友會ノ部ニ係ル事件ノ揭示ハ其部々長ノ認印ヲ受ケ校友會一般ニ係ル事件ノ揭示ハ副會長ノ認印ヲ受ケ且ツ揭示ノ位置ニ付テハ生徒課ノ指圖ニ從フヘシ  
二 校友會ニ關セサル揭示ハ生徒課ノ許可ヲ得タル後ニアラサレハ揭示スルヲ得ズ  
三 揭示ノ期間ハ三日トス若シ其以上ニ涉リ揭示ノ存留ヲ要

スルモノハ期限ヲ定メテ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

揭示ニハ揭示ノ日並ニ三日以上ニ涉ル揭示ハ其期限ヲモ表示スヘシ

四 揭示多數ニシテ同時ニ都テノ揭示ヲ爲ス能ハサル場合ニ於ケル揭示ノ順次ヲ左ノ如ク定ム

(イ) 第一次 校友會中央部ノ揭示

第二次 校友會各部ノ揭示

第三次 以上ニ記載セル以外ノ揭示

(ロ) 各部間ニ在テハ揭示ノ許可ヲ得タル順ニヨル

(ハ) 校友會ニ關セサル揭示ハ其揭示ノ期間中ト雖モ校友會ノ揭示ヲ爲スノ急要ニヨリ之ヲ撤スルコトアルヘシ

○他學校生徒トノ競技ニ關スル件 (四二九、一八日發布)

一、他高等學校生徒トノ競技ハ春夏冬ノ三期休業間ニ限リ

之ヲ許スモ其他ノ時期ニ於テハ一切許可セサルコト

二、高等學校外ノ諸學校生徒トノ競技ニ付テハ左ノ通リトス  
ルコト

(イ) 競技ノ爲メ本校ヨリ生徒ノ出張スルモノハ前項三休業  
期間ノ外ハ一切之ヲ許可セス

(ロ) 競技ノ爲メ先方ヨリ來校スルモノナルトキハ土曜日ノ  
午後及休業日ニ限り之ヲ許スモ其他ハ一切許可セス

三、第一項及第二項第(イ)號ノ三休業期間ト雖モ多數生徒ノ出  
張スル場合又ハ出張ノ場所遠隔ナルカ其他多額ノ經費ヲ  
要スル場合ニ於テハ之ヲ許可セズ

○生徒ノ集會ニ關スル件 (四二、九、二三日發表)

一 生徒集會ヲ催サントスルトキハ必ス左記手續ヲ經由スヘ  
シ

集會ヲ催サントスルトキハ必ス主催者ヲ定メ其主催者ヨ  
リ左記事項ヲ在寮生ノミノ集會ハ寮務課長ニ其他ノ集會  
ハ都テ生徒課長ニ届出テ豫メ許可ヲ受クベキコト

- (イ) 集會ノ目的
  - (ロ) 集會ノ場所
  - (ハ) 會同スル者ノ組名姓名
- 二 料理屋ニ於テスル集會ハ嚴禁ス
- 三 如何ナル場合ニ於テモ飲酒ハ嚴禁ス

○職員

(明治四十二年十月一日現在)

學校長

理學士 酒井佐保高知族

生徒監

文學士 秋月胤繼東京府

教授

倫理學、心理學、論理學、英語、

文學士 岡野義三郎大坂府

數學

理學士 三輪田輪三東京府

動物學、植物學

陸軍歩兵中尉

理學士 大渡忠太郎東京府

獨語

足立謙吉東京府

歷史、漢文

文學士 滿田新造福島縣

獨語

澤井要一東京府

漢文

文學士 秋月胤繼東京府

歷史

文學士 內藤馬藏岡山縣

英語

P.H. D (Yale)

三宅亥四郎廣島縣

英語

D. B. (Harvard)

廣津友信福岡縣

國語

松尾哲太郎岡山縣

獨語

原榮福島縣

獨語

清國政府應聘中

理學士 伊藤茂松山形縣

地質及礦物學

浦原重實佐賀縣

英語

M. A. (Yale)

理學士 生田巖太郎群馬縣

英語

文學士 八木正術高知縣

獨語

大倉本澄大坂府

國語

文學士 志田義秀富山縣

獨語

西島慶次郎山口縣

化學	獨語	化學	數學	講師	理學士	辻卓爾	岡山族
化學	獨語	藥學士			池山榮吉	東京府	
體操	陸軍步兵大尉	窪美温			秋山於菟麿	東京府	
體操	陸軍步兵少尉	服部克己			小林長二郎	岡山縣	
體操	陸軍步兵少尉	藤原嵩三			中村宇太郎	岐阜縣	
測量	岡山縣立工業學校教諭	鈴木恒治			岡本一郎	山口縣	
獨語	法律、經濟學、英語、岡山縣立商業學校教諭	岡本一郎			天沼貴彦	東京府	
獨語		荒木吉次郎				熊本縣	
物理學							

物理學	獨語、羅句語	備外國人教師	理學士	雜賀修二郎	大分族
國語、漢文	獨語、羅句語		文學士	吉田貞一	岡山縣
英語	獨語、羅句語		文學士	佐々木邦	靜岡縣
英語、羅句語	助教授		文學士	Franz Otto Helfrich	獨國人
	助教授		文學士	R. A. Oxford	獨國人
	囑託教員			Indsay. Sadler	英國人
化學授業補助				日下庄太郎	岡山縣
體操科				安田辰造	岡山縣
地質及礦物學授業補助				堀正矩	京都府
				中野實	岡山縣

書學及測量科授業補助  
 物理學授業補助  
 生物學授業補助  
 國語及漢文科授業補助  
 生物學授業補助

書記

中島 涉 岡山縣民  
 黒田 正道 東京府民  
 石田 平吉 廣島縣民  
 戸田 良一 岡山縣民  
 小林 晴治郎 岡山縣民

雇員

陸軍歩兵少尉

新井 穆 北海道民  
 小野 磯次郎 岡山縣民  
 河合 堯永 岡山縣民  
 板野 猪三次 岡山縣民  
 松本 鉄太 岡山縣民  
 塩田 貫三郎 岡山縣民

學校醫

擊劍教師

村尾 三雄 東京府民  
 岡 定一郎 岡山縣民  
 佐久間 章一郎 岡山縣民  
 阿部 實晟 岡山縣民

○評議員

教授	岡野義三郎
全	三輪田輪三
全	大渡忠太郎
全	足立謙吉
全	滿田新造
全	秋月胤繼
全	内藤馬藏
全	廣津友信
全	松尾哲太郎

○教務分擔  
担任教官

一部三年甲組	教授	池山榮吉
一部三年乙組	全	原榮
一部三年丙組	全	内藤馬藏
二部三年甲組	全	三輪田輪三
二部三年乙組	全	辻卓爾
三部三年組	全	窪美温
一部二年甲組	全	岡野義三郎
一部二年乙組	全	生田巖太郎
一部二年丙組	全	滿田新造
二部二年甲組	全	廣津友信
二部二年乙組	全	秋山於菟麿

三部二年ノ組	全	大渡忠太郎
一部一年甲組	全	落合貞三郎
一部一年乙組	全	志田義秀
一部一年丙組	講師	鈴木恒治
二部一年甲組	教授	松尾哲太郎
二部一年乙組	全	大倉本澄
三部一年ノ組	全	澤井要一

○學科主任

倫理學、論理學、心理學	教授	岡野義三郎
數學、物理學、化學	全	三輪田輪三
動物學、植物學、地質學、鑛物學	全	大渡忠太郎
歷史、法律及經濟學	全	滿田新造
獨語、雜句語	全	澤井要一
國語、漢文	全	秋月胤繼
英語	全	三宅亥四郎
圖書及測量	全	松尾哲太郎
体操科	講師	服部克己
○生徒取締		
主任	講師	服部克己
主任	全	小林長二郎



全 藤原 岳三  
助教授 日下庄太郎

○事務分課

(一) 教務課

(兼) 書記 小野 磯次郎  
(兼) 囑託教員 堀 正 矩

囑託教員 戸田 良 一

(二) 生徒課

長

教授 足立 謙吉

(兼) 講師 服部 克己

(兼) 書記 小野 磯次郎

(兼) 囑託教員 堀 正 矩

(兼) 囑託教員 戸田 良 一

(三) 寮務課

長

生徒監教授 秋月 胤 繼

		長		長			
		(五) 會計課		(四) 庶務課			
(六) 文庫課		書記	新井 穆	教授	滿田 新造	助教授	日下庄太郎
全	岡 定一郎	雇	村尾 三雄	全	板野猪三	全	藤原 崑三
						雇	鹽田貫三郎

		長	
雇	松本 鉄太	教授	松尾哲太郎
		書記	河合 堯永

生徒

平 靜 岡 民 縣	平 東 京 府 民 縣	平 岡 山 縣 (特)	平 山 口 縣 德 重	兵 庫 縣 川 村	兵 庫 縣 川 村	岡 山 縣 太 田	群 馬 縣 岡 田	群 馬 縣 佐 藤
石 川	宗 像	山 谷	正 人	昌 信	昌 信	岡 田	岡 田	六 一 郎
久 太 郎	久 敬	省 吾				一 貢		
平 岡 山 民 縣	平 神 奈 川 縣	平 熊 本 縣	平 兵 庫 縣	平 山 口 縣	平 廣 島 縣	長 野 縣	東 京 府	
齋 藤	渡 邊	小 出	前 田	賀 屋	高 橋	丸 山	田 坂	
貢	利 二 郎	芳 太 郎	薫	俊 雄	仰 之	正 雄	龍 雄	
平 岡 山 民 縣	平 廣 島 縣	平 靜 岡 縣	平 福 井 縣	平 廣 島 縣	平 茨 木 縣	平 岡 山 縣	平 香 川 縣	
高 島	宮 澤	岩 城	大 塚	守 山	高 安	水 野	池 田	
肇	裕	茂	俊 雄	薰	禮 三	傳 三	卓 一	

一部三年甲類

○生徒姓名 (明治四十二年九月三十日現在)  
備考 姓名ノ傍ニ(特)トアルハ特待生ナリ  
又外國學生ノ傍ニ講トアルハ聽講生ナリ

生徒

東京府 山田敬太郎

廣島縣 山路利夫

高知縣 田井延次郎

一部三年乙類

岡山縣 近成多一

岡山縣 藤田逸男

東京府 齋藤茂

岐阜縣 遠山勲

岡山縣 石黒義郎

山口縣 安田實

香川縣 大森研造

岡山縣 坂本稔

廣島縣 岡田性一

高岡縣 緒方健三郎

三重縣 清水義賢

岐阜縣 篠田鍛次郎

岡山縣 中川荒

岩手縣 石川文雄

石川縣 等力了

神奈川縣 永野毅

香川縣 松本官平

三重縣 竹井廉

一部三年丙類

香川縣 橫田歌次

岡山縣 中島重

三重縣 竹井廉

生徒

山口縣 磯邊助一  
茨木縣 吉葉泰三

廣島縣 中根伸介  
靜岡縣 大川元次郎

新潟縣 權平悌三郎  
香川縣 上野秀吉

二部三年甲類

奈良縣 中西保則  
大坂府 根矢庄次郎  
岡山縣 春名喜四郎  
廣島縣 土居時良  
新潟縣 坂井林太郎  
香川縣 河田隆治  
廣島縣 渡邊里樹  
和歌山縣 市村英治  
滋賀縣 三津川好照

宮城縣 山田萬七  
奈良縣 山口榮次郎  
神奈川縣 早川三郎  
東京府 倉西太郎  
千葉縣 吉田仁作  
靜岡縣 松本蒸  
埼玉縣 柳澤英一郎  
東京府 澤田正夫  
廣島縣 日野易造

廣島縣 日野鴻藏  
三重縣 谷充國  
岡山縣 內田榮造  
茨木縣 市川爲吉  
山口縣 田島義士  
廣島縣 明石九一  
茨木縣 間原長次郎  
清講 揚王 大鶴  
清講 崑

三

二

平愛媛縣 白石巖	平大坂府 錢高作太郎	平靜岡縣 確井英隆	平岡山縣 園部一夫	平山口縣 米村貞雄	平山形縣 淺間逸男	平福岡縣 齋藤孝次郎	平岡山縣 池木隆	平香川縣 平井次郎吉	平大坂府 橫井增治	平山口縣 桑原利英
二部三年乙類	平神奈川縣 小野道三郎	平廣島縣 岩尾行藏	平兵庫縣 德永泰人	平廣島縣 藤井厚二	平愛知縣 藤林密	平岡山縣 國宗晉	平岡山縣 兒島豐作	平兵庫縣 岡田進三郎	平愛媛縣 杉宜算	平東京府 島田貫一
平兵庫縣 中野豐吉	平廣島縣 野村淨	平大坂府 吉井無等	平東京府 久保田清	平廣島縣 宮川清	平靜岡縣 鈴木恒太郎	平埼玉縣 澁澤虎雄	平愛媛縣 新野一良	平香川縣 安藤昌三	平岡山縣 遠藤祐三	平岡山縣 江木貴一郎

三部三年

平靜岡縣 與村光隆	平山口縣 古谷義佐	平兵庫縣 前出利實	平湖山縣 大森斌彦	平靜岡縣 西原八十八	平山口縣 繁澤利往	平石川縣 中島巖	平靜岡縣 國枝溥	平愛知縣 金義雄	平福島縣 須田三郎	平千葉縣 五十嵐清治
平靜岡縣 清水能澄	平廣島縣 惠木卓吉	平廣島縣 土肥順造	平東京府 太田寧	平靜岡縣 高木丑平	平東京府 伊東孝一	平愛知縣 大石太七郎	平茨木縣 石塚俊	平東京府 岡村治人	平東京府 篠崎憲一郎	平岡山縣 片山茂樹
平廣島縣 渡邊重治郎	平廣島縣 惠木卓吉	平廣島縣 土肥順造	平東京府 太田寧	平東京府 福田祿壽	平山口縣 西田紀元	平山口縣 石原寅次郎	平東京府 松村巖	平東京府 真崎清治	平佐賀縣 郭鴻鑾	平東京府 郭鴻鑾

不岡山民縣 池上稟三	不香川民縣 八十川正義	不佐賀族縣 山田佐八	不靜岡民縣 本日秀壹	不島根民縣 吉田賢男	不奈良民縣 關健三郎	不岡山民縣 西少太郎	不大阪族府 吉村信太郎	不栃木族縣 澤田巖	不岐阜民縣 市岡乙熊	不福島民縣 上遠野長重
不東京府 久松來介	不愛知民縣 三木通三	不岡山民縣 石黒琢磨	不兵庫民縣 鹽濱寅一	不和歌山民縣 岩田玉之助	不東京族府 金子徹	不岡山民縣 守分十	不石川民縣 源豐雄	不島根民縣 大石廣足	不大分民縣 後藤多賀雄	不岐阜民縣 日比野勉
不岡山民縣 定兼料平	不愛知民縣 伊藤重三郎	不廣島族縣 池田信夫	不山口族縣 原鴻太郎	不廣島族縣 太刀掛陣一	不大阪族府 傍士榮雄	不岡山民縣 張錄	不岡山民縣 石井直三郎	不岡山民縣 草間時光	不岡山民縣 市岡乙熊	不福島民縣 上遠野長重
不岡山民縣 岡野清豪	不岡山民縣 吉岡堅太郎	不岡山民縣 松下重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 石井直三郎	不岡山民縣 草間時光	不岡山民縣 市岡乙熊	不福島民縣 上遠野長重

一部二年甲類

不東京府 筒井信治	不廣島民縣 太平藹一	不東京族府 和氣鶴太郎	不岡山民縣 土井原堯二	不岡山民縣 松尾廣次郎	不香川民縣 石井明功	不廣島族縣 村上喜一	不岡山民縣 近藤喜一	不奈良族縣 龜谷貞訓	不德島民縣 多田源之助
不岡山民縣 長安陸五	不大阪族府 和田孫吉	不兵庫族縣 町田成美	不靜岡民縣 宮本英雄	不德島民縣 湯淺信男	不長崎民縣 長崎鼎	不廣島民縣 岡本久人	不山口民縣 前田利道	不東京府 奧田喜久三	不福井族縣 窪田孝
不岡山民縣 岡野清豪	不岡山民縣 吉岡堅太郎	不岡山民縣 松下重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 石井直三郎	不岡山民縣 草間時光	不岡山民縣 市岡乙熊
不岡山民縣 岡野清豪	不岡山民縣 吉岡堅太郎	不岡山民縣 松下重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 松田重雄	不岡山民縣 太原五一	不岡山民縣 石井直三郎	不岡山民縣 草間時光	不岡山民縣 市岡乙熊

一部二年乙類



生徒

平山梨民縣	平岡山民縣	平香川民縣	士奈良族縣	平愛知民縣	平岐阜民縣	平鳥取民縣	平廣島民縣
渡邊寅次郎	太田稔	古市正二	山崎寛二郎	竹村俊一	高橋澤衛	高橋英太郎	植木茂

平廣島民縣	平岡山民縣	士廣島族縣	平廣島民縣	平東京民府	士東京族府	士香川族縣	士長野族縣
金原柔次郎	竹井俊郎	三田村貞雄	津村恕一	黒田修三	野津勝造	浦生明	伊藤榮

平愛媛民縣	平岐阜民縣	平岡山民縣	平沖繩民縣	平大坂民縣	清	清	清
小田賢郎	高木顯達	島村章之	田中胖	寛正幸	梁	文	黄

二部二年乙類

士神奈川族縣	士埼玉族縣	士東京民府
坂本秀一	横田敬三	三輪昌一

士神奈川族縣	平香川民縣	士德島族縣
鈴木三郎	三好良種	野上七三

士東京族府	平廣島民縣	平岡山民縣
山岸貞一	石原繁行	林彪太郎

十

生徒

平岡山民縣	平香川民縣	平埼玉民縣	平山口民縣	平三重民縣
藤原高	尾崎登珍	高橋卯三郎	三戸卓助	安達誠太郎

平廣島民縣	平埼玉民縣	平愛媛民縣	平京都民府	平香川民縣
世良正一	大島卓爾	矢野義治	高田龜太郎	和田清太郎

平東京民府	平山形民縣	平廣島民縣	韓	清
大關竹三郎	高橋省造	田部華吉	趙鍾觀	吳永珊

三部二年

平東京民府	平廣島民縣	平佐賀民縣	平兵庫民縣	平高知民縣	平廣島民縣
佐藤亨	佐々木憲一	山口彦四郎	山口徳隆	山村克己	鈴木朝輝

平三重民縣	士京都族府	平鳥取民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平静岡民縣
山上熊郎	石上一介	原田謙太郎	淺野正吉郎	石田稻男	望月朔郎

平大分民縣	平香川民縣	士東京族府	平鳥取民縣	平東京民府	平鳥取民縣
首藤守彦	淺田弘太郎	清水盛政	松島茂	桐原真一	武田六郎

十一



東京府 志賀亮	石川縣 八十島基	靜岡縣 松本文作	茨木縣 黒田一郎	兵庫縣 住田正昭	德島縣 坂東隆雄	平岡縣 藤原敬三	廣島縣 市川佐與吉	山口縣 品川實
岡山縣 石田林三郎	靜岡縣 宇野俊夫	不靜岡縣 奥原繁雄	德島縣 四宮治實	香川縣 谷信吉	山口縣 本田義策	平岡縣 早川正	平岡縣 石田襄	山口縣 杉山才治
東京府 青木九一郎	奈良縣 池原民次郎	岡山縣 岸金城	長野縣 白鳥文雄	廣島縣 田坂仁憲	茨木縣 鹽澤又三郎	兵庫縣 中治文一	平岡縣 柴田豐	平岡縣 柴田豐

一部一年甲類

岡山縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美	不岡縣 岡山崎和美
群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄	群馬縣 是洞健雄
不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二	不岡縣 吉村第二

廣島縣 島本修造	平岡縣 竹林漸	平岡縣 伊原木彌平	左賀縣 河村二四郎	不岡縣 岡田保太	鳥取縣 西尾次郎	岡山縣 平賀義典	岡山縣 池田乾治	兵庫縣 小西憲三	平岡縣 上田四七二	平岡縣 森長整	山形縣 小松季吉	平岡縣 前田半三郎
香川縣 田中一正	不岡縣 劍持恭平	不岡縣 福田要	不岡縣 山本治兵衛	不岡縣 黒瀬琢郎	不岡縣 内藤多賀志	不岡縣 江川武	不岡縣 田邊綾夫	高知縣 利岡喜久太郎	平岡縣 吉田侃一	平岡縣 落合完二	廣島縣 河相惇一郎	平岡縣 須々木繁太
兵庫縣 黒田三二	平岡縣 田中亮造	山口縣 坂本秀雄	岡山縣 黒住正夫	香川縣 横田龍平	東京府 宮崎逸平	東京府 水上不二夫	不岡縣 安田幸一	神奈川縣 皆川量平	清 般汝威	韓 金雨英	韓 俞萬兼	

一部一年乙類

平和歌山民縣	平兵庫民縣	平新潟民縣	平佐賀民縣	平埼玉民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平大坂府	平福岡民縣	平愛媛民縣	平靜岡民縣
松岡慎一郎	木南正忠	兒玉庄司	中村仙一	柳下道政	梶原隆雄	黒住豫一	福井稔	宮木國夫	近藤鐵藏	佐藤鐵藏
士北海族道	平岡山民縣	平愛媛民縣	平愛媛民縣	平愛知民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平廣島民縣	平岡山民縣	平長野民縣	平岡山民縣
田所糧助	山田義人	武智啓次郎	秋月聖憲	森有岡長四郎	內田律爾	西原喜作	畑利平	石本音彦	小見山壽海	
平奈良民縣	士岡山族縣	平北海道民縣	士岡山族縣	士東京族府	士愛媛族縣	平京都府	平茨木民縣	平愛媛民縣	平岡山民縣	士廣島族縣
倉田喜造	三善清丸	馬場讓	杉山文太郎	益田勝次	松根貞吉郎	中村正雄	石川貞四郎	豐永誠一郎	枝松琢磨	岡村武夫

一部一年丙類

平福岡民縣	平三重民縣	平宮崎民縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣	平和歌山族縣
井口信太郎	辻佐五郎	成見延龜	松尾定次	堂本恭三	宮本信彦	吉田米二郎	兒玉久	臺田彌一	久米直次	萩原朔太郎
平奈良民縣	平岡山民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣
小泉卓藏	鳥越孫三	小林倍五郎	谷口次太郎	伊奈信陽	磯貝惟一	木村良弼	岡崎旭	態己義憲	山田榮一	平梨民縣
平鹿兒島民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣	平山口民縣
安樂信夫	泉雪香	山邊懋壯	西村昌	三村立人	松本三郎	小田切謙	太田收	黒田三郎	佐藤國一郎	平三重民縣

平福 井 民縣	平島 取 民縣	士香 川 族縣	平岩 手 民縣	平長 崎 民縣	平廣 島 民縣	平岡 山 民縣
田邊 富 宅	稻田 直 道	松本 茂	佐藤 五 郎	林田 菊 治	柴野 廣	松田 忍
士岡 山 族縣	平岡 山 民縣	士東 京 族府	士三 重 族縣	平大 坂 民府	士河 山 族縣	平廣 島 民縣
浦上 徹 郎	公森 三 郎	市川 亥 三 雄	太田 祭 一 郎	豊田 龜 三 郎	瀬川 貞 吉	宮地 憲 三
士茨 木 族縣	士岡 山 族縣	士岡 山 族縣	平廣 島 民縣	平兵 庫 民縣	平廣 島 民縣	平東 京 民府
中崎 憲	花房 職 允	森 昇 三	庄司 敏 男	松浦 憲 三	松本 康	松村 徹 二

二部一年甲類

平岡 山 民縣	平靜 河 民縣	平岡 山 民縣	平島 根 民縣
三宅 虎 男	杉山 久 夫	河西 恒 太	飯田 惠
平德 島 民縣	平兵 庫 民縣	平岡 山 民縣	平兵 庫 民縣
芝 喜 代 二	敷内 竹 一	石原 讓 平	福田 次 彦
平德 島 民縣	平島 取 民縣	士廣 島 族縣	士廣 島 族縣
米澤 國 吉	福見 貞 治	長澤 圭 五	三上 昭

士岡 山 族縣	平香 川 民縣	平岡 山 民縣	平靜 岡 民縣	平奈 其 民縣	平岡 山 民縣	平岡 山 民縣	平廣 島 民縣	士廣 島 族縣	平愛 知 民縣	平岡 山 民縣
石川 鉄 彌	中野 真 吾	渡邊 甲	鈴木 新 吉	松谷 安 治	三宅 廉 太 郎	戸田 薰 一	村上 雄 吉	伊藤 敷	三輪 幸 左 衛 門	守屋 信 一
平廣 島 民縣	平廣 島 民縣	平廣 島 民縣	平香 川 民縣	平岡 山 民縣	平神 奈 川 民縣	平岡 山 民縣	平東 京 民府	平廣 島 民縣	士岩 手 族縣	平岡 山 民縣
池田 龍 一	河野 淌 一	木原 圓 治	肥谷 源 一 郎	渡邊 恕 平	伏島 信 九 郎	小野 美 造	吉村 作 二 郎	多田 國 一	永田 巖	池田 寬
清	清	清	士埼 玉 族縣	平岡 山 民縣	平大 坂 民府	平愛 知 民縣	平山 口 民縣	平滋 賀 民縣	士愛 媛 族縣	平岡 山 民縣
黃紹 誠	吳道 南	李承 幹	牧野 真 一	圓山 準 吉	小原 知 時	野々 山 整 一	中西 甚 作	前川 繁 次 郎	伊藤 憲 吉	三宅 豐

二部一年乙類

平岡山民縣	平廣島民縣	平德島民縣	士東京族府	平廣島民縣	平東京民府	平德島民縣	山口族縣	士廣島族縣	不愛媛民縣	士愛媛族縣	平愛知民縣	平東京民府
三宅馨	松井清三	大栗利二	海老原環	森俊造	松本茂吉	大久保元次郎	福永鴻介	橫田小人大	野間隆一	山崎義政	山羽貞夫	小杉錠造
士京都族府	平德島民縣	士島根族縣	平新潟民縣	平新潟民縣	平愛媛民縣	士岡山族縣	士岡山族縣	平栃木民縣	士岡山族縣	平岡山民縣	士岡山族縣	平東京民府
山内真三雄	吉岡寅吉	櫻井元毅	島山恭助	本間賢介	島川亨	岡本隆次	内藤珍麿	和田彪二郎	出岡寄隆	定岡寄近	次田剛	中村孝二郎
士山口族縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平山口民縣	平福岡民縣	士熊本族縣	平岡山民縣	平大分民縣	平千葉民縣	平愛媛民縣	平山口民縣	平岡山民縣	華東京族府
手島正二	片山駿太郎	水河卓爾	見常義一	三原廉三	松尾茂	大橋吉太郎	河野茂	石福覺治	玉井則衛	白根敏郎	兒山宗十郎	佐雙定雄

士大分族縣	士廣島族縣
堀巖	後藤綾次郎
清光旭	清彭道中

三部一年

平岡山民縣	平岐阜民縣	平石川民縣	平廣島民縣	平東京民府	平神奈川民縣	平岐阜民縣	士愛知族縣	士兵庫族縣
田中堅輔	上田定雄	尾形弘	後藤元彦	尾城誠	神崎豐司	大野黎	池山清毅	坂井毅
平廣島民縣	平岡山民縣	平廣島民縣	平岡山民縣	平島根民縣	平廣島民縣	士廣島族縣	平岡山民縣	平廣島民縣
坂本新	吉村良一	香川三之助	金谷材吉	春木秀次郎	進藤憲	原田從道	森谷豐三	秋月顯三
平神奈川民縣	平高知民縣	平廣島民縣	士岡山族縣	平島根民縣	平埼玉民縣	士愛媛族縣	士東京族府	士山口族縣
宮下保雅	上村親一郎	山本寬二	島村金輔	土屋幸夫	淺見又次郎	蔭山巖	高橋謙	石川正臣

平愛媛縣 石川保良	平廣島縣 國廣寬一	平香川縣 松原良一	鹿兒島縣 池田章	岡山縣 山田琅	士岡族 吉川英作	平埼玉縣 吉川英作
平廣島縣 林國久	平廣島縣 植村英雄	平愛媛縣 村上豐	平岡山縣 小山武夫	平香川縣 今井了五郎	平兵庫縣 蘆田利一	平兵庫縣 蘆田利一
平岐阜縣 可知干	平廣島縣 須磨習之	平福島縣 館川四郎	平廣島縣 前伍六郎	平德島縣 福島林平	清 劉先登	清 劉先登

○卒業生姓名

大學豫科第一回卒業生 (明治三十六年六月三十日卒業)

一部 甲

平愛知縣 清水益太郎	平兵庫縣 長澤一夫	平岡山縣 妹尾盛親	平愛媛縣 加地歌三郎	平岡山縣 吉田貞一	兵庫縣 山本一作	兵庫縣 山本一作
平兵庫縣 天宅敬吉	平岐阜縣 成瀬澄三郎	平福岡縣 大原保	平愛媛縣 告森喬	平廣島縣 山下三郎	平大坂府 田中薰	平大坂府 田中薰
東京府 小林愛雄	平岡山縣 青木勸	平岡山縣 山口勸			平大坂府 岸本良和	平大坂府 岸本良和

一部 乙

二部 甲

平福岡縣 小野鑑正	平大坂府 松井貴太郎	士愛知縣 北村五十彦
士兵庫縣 岡崎幸人	平京都府 杉本德三	士岡山縣 坂本鑑四郎
平岐阜縣 鷺見暁雄	平岡山縣 犬飼壽太郎	平高知縣 島田稻喜
平岡山縣 武藤與作	平滋賀縣 市田菊次郎	平奈良縣 芳田直三郎
士鳥取縣 圓城寺規	士岐阜縣 大橋(元奥富) 綏彦	平大坂府 山本和七

二部 乙

平富山縣 土井多四郎		
------------	--	--

三部

平島根縣 藏光長次郎	平大坂府 吉川順治	平三重縣 丹羽元亮
平和歌山縣 龜井德次郎	平三重縣 友松佳雄	士和歌山縣 池端俊雄
平奈良縣 喜多幸次郎	平兵庫縣 竹本榮	平岡山縣 多胡雄

平三重縣 岩野誠一	士大坂府 好本節	平兵庫縣 角田弘之
平大坂府 笠原道夫	平山梨縣 原藤孝一	平京都府 塩見長衛
平茨城縣 井上善吉	平愛知縣 野村不回	平大坂府 森小一
平廣島縣 吉永福太郎	平大坂府 竹內伊三	平香川縣 鶴見藤太
平靜岡縣 齋藤和策	士岐阜縣 大橋代次	士岡山縣 加藤尙義
平愛知縣 佐久間泰治	平和歌山縣 辻野保	
平岐阜縣 早野龍三	平靜岡縣 蜂須賀誠二	

第二回卒業生 (明治三十七年七月五日卒業)  
英一部

平廣島縣 築島信司	平兵庫縣 森木豊治郎	平廣島縣 加計正文	平岡山縣 松本卓爾	平愛媛縣 相原熊太郎	平岡山縣 横田誠一郎	平宮崎縣 柿原政一郎	平岡山縣 高橋文五郎
平兵庫縣 山本芳治	平愛媛縣 山田一	平奈良縣 戸尾龜太郎	平京都府 中院富壽	平長崎縣 浦瀬七太郎	平岡山縣 金万庸次	平佐賀縣 藤田積造	平島根縣 關屋政德
平宮崎縣 西村甫太郎	平大坂府 柳原達	平靜岡縣 芝口鏡一	平岡山縣 日笠祐一郎	平德島縣 重田幸吉	平岡山縣 戸部十二郎	平岡山縣 石井林藏	平岡山縣 原田德三郎

二部工科

平和歌山縣 望月政友	平和歌山縣 大河内又太郎	平福島縣 千葉誠一	平廣島縣 今福新一	平香川縣 木村得多	平廣島縣 瀬尾武次郎	平和歌山縣 大口章次
平群馬縣 金井四郎	平福岡縣 中上友三郎	平長野縣 川村龍雄	平鹿兒島縣 高崎秀雄	平岡山縣 清水稼太郎	平大坂府 小笠原顯	平岡山縣 數田春魚
平兵庫縣 板野幸一	平福岡縣 大里與謝郎	平福井縣 春日主稅	平岐阜縣 關口親	平岡山縣 中村正義	平大坂府 高田郁三	平岡山縣 那須賴太郎
平岡山縣 三宅幹次	平岡山縣 遠藤三武郎	平廣島縣 玉島光三	平愛媛縣 西松唯一	平岡山縣 永瀬連太郎	平岡山縣 石井格一	平岡山縣 那須賴太郎
平岡山縣 高田郁三	平岡山縣 中村正義	平岡山縣 清水惠助	平兵庫縣 西川清治	平岡山縣 永瀬連太郎	平岡山縣 石井格一	平岡山縣 那須賴太郎









茨城縣	鈴木慎吾
愛知縣	平野一實
島根縣	小池寬
河山縣	赤枝守一

愛知縣	入野賢二
岡山縣	小津孟
河山縣	鈴木賴衛
鹿兒島縣	酒匂龍助

栃木縣	浦上利雄
神奈川縣	榑原初太郎

第四回卒業生 (明治三十九年)

一部甲

秋田縣	栗林宇一
岡山縣	寺本富次
靜岡縣	長谷川巖
香川縣	宮西甚兵衛
岡山縣	齋藤文質
岡山縣	丸尾俊彦
福井縣	羽溪了諦
和歌山縣	伊達四雄
河山縣	次田潤

一部乙

岡山縣	津田弘正
廣島縣	多田敬二
山形縣	齋藤哲四郎
兵庫縣	河本修三
廣島縣	中根倫
千葉縣	阪部武三郎
岡山縣	龜山保夫
廣島縣	森田司悽
東京府	飯田喜藏

群馬縣	中村藤兵衛
宮崎縣	三井芳太郎
長野縣	尾崎庄兵衛
東京府	關谷善一
佐賀縣	河村嘉一郎
香川縣	豐田著壽
廣島縣	石田鉄雄
廣島縣	細川兵一
群馬縣	畔見又四郎

大坂府民	水野 齋之助	鳥取縣民	伊東 祐啓	島取縣民	寺尾 秀堯	埼玉縣民	仲 榮壽	大分縣民	瀧川 秀雄	岡山縣民	小林 九一郎	神奈川縣民	吉田 次郎	廣島縣民	吉田 眞策	東京府民	辻 敬三	大坂府民	浦野 義隆	富山縣民	岩城 平之助	靜岡縣民	太田 吾一	岩手縣民	三田村 富彌
------	--------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	--------	-------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	--------	------	-------	------	--------

熊本縣民	澤井 元善	東京府民	北島 武治	岡山縣民	杉山 常勝	東京府民	稻山 信吉	愛知縣民	今村 信玄	京都府民	岡田 勇次郎	東京府民	岡田 繁	香川縣民	難波 良藏	岡山縣民	香西 俊雄	東京府民	藤堂 景吉	岡山縣民	岸本 銳次郎
------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	--------

岡山縣民	宇野 武男	和歌山縣民	眞野 濟藏	長野縣民	長井 喜太夫	岡山縣民	田口 易之	岡山縣民	内藤 憲吉	千葉縣民	三幣 敬三	宮崎縣民	日高 明	京都府民	米田 嘉一郎	岡山縣民	岡田 茂登次郎
------	-------	-------	-------	------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	--------	------	---------

二部甲

香川縣民	馬場 象夫	岡山縣民	明石 三二	新潟縣民	米榊 健次郎	廣島縣民	高橋 順一	岡山縣民	内田 嘉吉	岡山縣民	藤岡 郊二	廣島縣民	鈴木 貫一	岡山縣民	荒木 文四郎
------	-------	------	-------	------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	--------

島根縣民	潮 藏	岡山縣民	藤田 邦太郎	佐賀縣民	北島 義麿	東京府民	中村 誠	愛知縣民	櫻井 重助	福岡縣民	衣斐 圭藏	東京府民	古橋 柳太郎	岡山縣民	藥師寺 主計
------	-----	------	--------	------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	--------	------	--------

廣島縣民	津川 掌事	大坂府民	鈴木 順三	東京府民	眞野 正雄	岡山縣民	江田 秀太郎	長野縣民	眞島 寅三郎	東京府民	田代 信嗣	和歌山縣民	垣内 捨楠
------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	------	--------	------	-------	-------	-------

二部乙

東京府民	志賀 潔
------	------

石川縣民	關口 雷三
------	-------

兵庫縣民	榎田 茂一
------	-------

長野族縣 渡邊 中  
 河山民縣 湯淺 新平  
 愛媛族縣 長山 邑陸  
 奈良民縣 西垣 晋作

德島族縣 門田 信一  
 愛媛民縣 日野 富三郎  
 東京民府 奥田 讓  
 茨城民縣 奥澤 雅四郎

茨城族縣 山岡 元利  
 東京族府 小西 龜太郎  
 北海道族 田川 謙吉

三部

愛知民縣 宮川 米次  
 高知族縣 加用 信憲  
 兵庫民縣 蛇目 將監  
 東京民府 酒井 繁  
 岐阜民縣 青木 庄平  
 廣島族縣 三戸 雄輔  
 廣島族縣 結城 善平

河山民縣 景山 万次  
 東京民府 宮部 昇  
 德島民縣 藤本 理市  
 德島民縣 松下 宇太郎  
 岡山民縣 田口 章信  
 山梨族縣 市川 方義  
 兵庫民縣 清水 顯

香川民縣 吉馴 信安  
 和歌山民縣 森川 修吾  
 香川民縣 帶包 定  
 佐賀民縣 問田 亮次  
 長野民縣 佐藤 秀太郎  
 廣島民縣 金尾 靜衛  
 静岡民縣 鷺山 英一

廣島民縣 志熊 二郎  
 茨城族縣 望月 章  
 新潟民縣 安達 太作  
 群馬族縣 大河原 市太郎

廣島民縣 石田 訓造  
 岡山民縣 松本 喜代美  
 秋田民縣 岩谷 高明  
 新潟族縣 宍倉 鋼助

岡山族縣 藤井 從橘  
 和歌山民縣 長谷川 大藏  
 香川民縣 木村 又八



平岡山民縣	池田耐一	平岡山民縣	石倉新十郎	平岡山民縣	保澤安五郎
平大坂民府	古田俊之助	平群馬民縣	石野正之	平大坂民府	和信夫
平廣島民縣	三川一	平愛媛民縣	森野澄	平岡山民縣	佐武正一
平岡山族縣	岸本千代吉	平長野族縣	石澤	平大坂民府	長野新十郎
平愛知族縣	加藤伸二	平岡山族縣	東馬三郎	平岡山族縣	手島潮
平大坂民府	梅田雄三	平岡山族縣	小林襄一	平岡山族縣	田中宏三
平大坂民府	市岡萬二郎	平滋賀民縣	近藤	平岡山族縣	原伸太郎
平長野民縣	小山柳一	平廣島民縣	堀岡利一	平岡山族縣	伊藤清四郎
平廣島民縣	石川福三郎	平神奈川民縣	前田貫三郎	平岡山族縣	
平愛知民縣	深見俊三郎	平京都民府	荒池忠吉	平岡山族縣	
二部乙					
平岐阜民縣	堀口由巳	平茨城民縣	鈴木英亮	平千葉民縣	木島武衛

三部

平廣島民縣	宇部宮清綱	平廣島族縣	澤崎勝	平廣島民縣	青山操
平大坂民府	芝池真吉	平兵庫民縣	芦田八百造	平岡山民縣	關莊一郎
平岐阜民縣	可知貫一	平群馬族縣	小林準一郎	平岡山民縣	林勝一
平山口民縣	光田小助	平東京族府	西貞吉	平東京民府	橋本寛三
平廣島民縣	三谷五郎	平長野民縣	小出義男	平東京民府	上野周
平京都族府	田中作次郎	平新潟民縣	水谷友三	平東京族府	
平東京族府	原三六	平岡山族縣	横屋潤	平東京族府	
三部					
平廣島族縣	佐藤邦雄	平岡山民縣	牧野融	平兵庫民縣	横田初治
平香川族縣	倉本猪三男	平長野民縣	杉山元之助	平岡山民縣	佐藤敏二
平香川民縣	山田靜榮	平茨城民縣	大和田撰太郎	平新潟民縣	楊盧原守業
平千葉民縣	角田孫一	平福岡民縣	小野山忠夫	平福岡民縣	飯田格

士巖手族縣	平岡山縣	平岡山縣	平愛知縣	平愛知縣	平茨城縣	平東京府	平岡山縣	士京都府
瀬川	仁科哲三	潮上孫一	山口静雄	郡司修	中川清	菅忠芳	佐谷有吉	

平岐阜縣	平愛知縣	平和歌山縣	平千葉縣	平兵庫縣	平岡山縣	平岡山縣	平岡山縣	士佐賀族縣
小川門一	中山佐代治	辻野二郎	藤井暉	千田要治	戸田滋次郎	西奈雄平	腹卷勘六	

平千葉縣	平兵庫縣	平東京府	平山梨縣	平埼玉縣	平廣島縣
井上庸三	永富精三	比留間茂十郎	志村太賀志	笠原精一	枝松邦藏

第六回卒業生  
（明治四十一年六月二十七日卒業）  
第一部 甲

平岡山縣	平兵庫縣	平兵庫縣	平千葉縣	平兵庫縣	平愛知縣	平山口縣	平島取縣	平石川縣	平高知縣	平岡山縣
赤木朝治	藤田大良	宮内聰太郎	天宅敬次	森逸二	大賀幾太	榎本正義	關本善照	中島彌團次	岩崎孫八	

平島根縣	平島根縣	平岡山縣	平岡山縣	平神奈川縣	平兵庫縣	平大坂府	平岡山縣	平新潟縣	平岡山縣
齋藤教慧	佐伯賴治	西村廉	三好安太郎	坂間棟次	岡田壽吉	榎戸泰介	谷田民夫	大久保保七郎	三宅富治

平鹿兒島縣	平岡山縣	平島取縣	平静岡縣	平山口縣	平岡山縣	平廣島縣	平茨城縣	平栃木縣	平兵庫縣
下村重美	渡邊競	吉澤尚	榎葉龜太郎	澄田福松	島田茂	藤井喜一	飯島誠一	田波庄藏	山本宗治



平岡山民縣 愛媛民縣 藤田福太郎 光畑甚吉

平岡山民縣 愛媛民縣 大西岸惠 三好權次郎

平廣島民縣 山崎二郎

第一部丙

平廣島民縣 宮城民縣 池田敬勝 一久 奈其民縣 三村和義 茨城民縣 入江三魁 山口民縣 山中恒三 東京府 八田潤 高知族 中谷貞頼 岡山族 大橋鐵吉 岡山族 寛千城夫

士京都府 有吉實 士愛知縣 伊東禿 平山民縣 黒田幹一 廣島族 久留島新司 香川民縣 山田信一 平河民縣 佐藤直丸 平山民縣 佐藤直丸 平岡民縣 瀧井文郷 平福民縣 柳沼保藏 平福民縣 瀧井文郷

平愛知縣 鷺尾祖鳳 平京都府 成瀨彬 平奈其族 辰市房五郎 平香川民縣 森小八郎 平香川民縣 倉田庄太郎 平兵庫民縣 濱家熊雄 東京族 杉村茂 平福井民縣 寺木喜三治 平熊本民縣 山田孝次郎

第二部甲

士愛知縣 松岡義彦 士東京府 山本景巖 平廣島民縣 進藤林造 平愛媛民縣 大政朝光

士茨城縣 菊池武男 士静岡民縣 海野普吉 平福民縣 柳沼保藏 平福民縣 瀧井文郷

平三重縣 土田保藏 平群馬民縣 久保田盛市郎

平東京府 小杉俊雄 平東京府 片岡敬正 平東京府 氏家竹之進 山口族 服部正人 岡山民縣 渡邊研六 平東京府 菱川宏 平東京府 富坂清

平岡山民縣 竹波喜久次 平東京府 厚木勝基 士左賀族 野口倫八 平岡山民縣 高田清六 平兵庫民縣 横田千秋 平群馬民縣 長野文一 士愛知縣 太田宏一

平岡山族 信原濟夫 平愛知縣 佐藤鐵吉 平新潟縣 桃村真一郎 平佐賀民縣 小柳助治 平静岡族 高木毅 平愛媛民縣 門田傳三 平香川民縣 桐榮寛三郎

岡山族縣	長江了一
岡山族縣	佐々木澄夫
廣島族縣	高田豐
兵庫族縣	柴原龍兒

第二部乙

埼玉族縣	若森久幹
廣島族縣	若林求己
山形族縣	櫻井五郎
東京族府	森勝吉

福井族縣	海福紀一
留學國	劉慶恩
(右聽講生)	

岡山族縣	瀧波正勝
香川族縣	安井信清
秋田族縣	市川節治
愛知族縣	鈴木一郎
兵庫族縣	岩村新
山口族縣	中本保三
山梨族縣	關谷正慶

愛知族縣	渡邊壽
兵庫族縣	福田惣次
東京族府	堀江勝己
岐阜族縣	伊藤一
岡山族縣	小出義彦
東京族府	星野毅
東京族府	久保時男

左賀族縣	一番瀬鎮造
京都族府	田中八郎
岩手族縣	柴内保次
大坂族府	西尾貞治

第三部

鳥取族縣	田邊文四郎
廣島族縣	藤井貞
高知族縣	溝淵忠雄
京都族府	高木小三郎
和歌山族縣	玉井壽千代
廣島族縣	横畑省三
岡山族縣	草野強治郎
岡山族縣	三宅達衛
香川族縣	多田維正俊
廣島族縣	山本順市
大坂族府	木積一次

鳥取族縣	齋藤千城
愛知族縣	入谷銚
岡山族縣	東原良太
茨城族縣	根本豐治
廣島族縣	佐々木龜鑒
大分族縣	岩男督
千葉族縣	鈴木秀雄
岡山族縣	高橋誠一
佐賀族縣	千佳作
愛知族縣	山田恒富
埼玉族縣	松本義治

鳥取族縣	伊東祐將
愛知族縣	入野信敏
愛知族縣	時野義磨
岩手族縣	小原彌兵衛
廣島族縣	斯林可兒雄
千葉族縣	鋤柄直也
佐賀族縣	掛下玉男
群馬族縣	星野馬二
和歌山族縣	中本信孖
廣島族縣	澤田基次

第七回卒業生 (明治四十二年六月二十九日卒業)

第一部甲

平岡山民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	滋賀族縣	平靜岡族縣	平東京府	茨城族縣
兒島多賀太	高井清一	金光男	堀江淡二	鈴木貫	鈴木安	首藤	菊池有

第一部丙

平京都府	平大分族縣	平東京府	平德島族縣	平和歌山族縣	平愛媛族縣	平京都府
神鞭常泰	關谷行	津田猛哉	宮崎勝雄	井關英一	西村曉	芝築地亮次郎

平山口民縣  
大村哲太郎

平長野族縣  
伊藤信男

平栃木民縣  
増田喜一

平岡山族縣	平廣島民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平岡山民縣	平東京府	平京都府	平岡山民縣
關孝次	石井實三	太田顯臧	深井靜治	高橋謙	須川節造	小山美登四	小美登四

第二部甲

平秋田族縣	平山口族縣	平靜岡族縣	平京都府	平栃木族縣	平山梨族縣	平岡山族縣	平岩手族縣	平愛知族縣	平岡山民縣
石塚綱正	三吉悅雄	戸塚龍平	秋山光夫	増山俊	向山佳年	窪田幹太	千葉讓祐	山本康三	大野清五郎

平靜岡民縣	平岡山族縣	平岡山族縣	平愛知民縣	平河内民縣	平滋賀民縣	平茨城族縣	平廣島族縣	平東京府	平山形民縣
大塚廿六	小原讓治	榎原昌	山田秀一	矢吹東馬	伊藤竹次郎	金子榮一	鼓常良	豊住周五郎	横山昌輔

平岡山族縣  
長崎俊雄

平廣島民縣  
池田亮次

平大坂府  
三宅定次

平東京府	平德島民縣	平大分民縣	平香川民縣	平岡山民縣	平東京府	平佐賀族縣	平群馬族縣
伊原照肅	樋口佐平	立川基義	三木百之助	大本琢壽	遠藤順一	原繁雄	横山采米

